

# 岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事

図面番号	図面内容	縮尺 (A1図)	縮尺 (A3図)
A-01	タイトル・図面リスト	-	-
A-02	特記仕様書 1	-	-
A-03	特記仕様書 2	-	-
A-04	特記仕様書 3	-	-
A-05	特記仕様書 4	-	-
A-06	特記仕様書 5	-	-
A-07	特記仕様書 6	-	-
A-08	特記仕様書 7	-	-
A-09	案内図・配置図	S=1:1500	S=1:3000
A-10	改修：1階平面図	S=1:100	S=1:200
A-11	現況：2階平面図	S=1:100	S=1:200
A-12	改修：2階平面図	S=1:100	S=1:200
A-13	現況・改修：断面図	S=1:50	S=1:100
A-14	現況・改修：天井伏図	S=1:100	S=1:200
A-15	改修：平面詳細図	S=1:50	S=1:100
A-16	改修：展開図	S=1:50	S=1:100
A-17	現況：建具KEY・建具表 (撤去)	S=1:100、S=1:50	S=1:200、S=1:100
A-18	改修：建具KEY・建具表	S=1:100、S=1:50	S=1:200、S=1:100
A-19	改修：家具KEY・家具表	S=1:100、S=1:50	S=1:200、S=1:100
A-20	既存撤去平面図	S=1:100	S=1:200
A-21	医ガスユニット参考図 1 (透析有)	S=1:20	S=1:40
A-22	医ガスユニット参考図 2 (透析無)	S=1:20	S=1:40
A-23	1階仮設計画参考図	S=1:100	S=1:200
A-24	2階仮設計画参考図	S=1:100	S=1:200

図面番号	図面内容	縮尺 (A1図)	縮尺 (A3図)
E-01	電気設備工事特記仕様書		
E-02	照明器具参考図		
E-03	電灯・非常照明・誘導灯改修平面図	S=1:50	S=1:100
E-04	アイソレーション盤結線図・参考図	S=1:20	S=1:40
E-05	コンセント・医用接地改修平面図	S=1:50	S=1:100
E-06	ナースコール参考図・系統図 電話・インターホン参考図		
E-07	電話・ナースコール・インターホン改修平面図	S=1:50	S=1:100
E-08	非常放送・テレビ・自動火災報知改修平面図	S=1:50	S=1:100
E-09	電灯撤去図	S=1:50	S=1:100
E-10	非常照明・誘導灯撤去図	S=1:50	S=1:100
E-11	コンセント撤去図	S=1:50	S=1:100
E-12	医用接地撤去図	S=1:50	S=1:100
E-13	放送・テレビ撤去図	S=1:50	S=1:100
E-14	ナースコール撤去図	S=1:50	S=1:100
E-15	自動火災報知撤去図	S=1:50	S=1:100
M-01	機械設備工事特記仕様書		
M-02	空調設備 配管2階撤去平面図	S=1:100	S=1:200
M-03	空調設備 配管2階改修平面図	S=1:100	S=1:200
M-04	空調・換気設備 ダクト2階撤去平面図	S=1:100	S=1:200
M-05	空調・換気設備 ダクト2階改修平面図	S=1:100	S=1:200
M-06	衛生設備 1階撤去平面図	S=1:100	S=1:200
M-07	衛生設備 1階改修平面図	S=1:100	S=1:200
M-08	衛生設備 2階撤去平面図	S=1:100	S=1:200
M-09	衛生設備 2階改修平面図	S=1:100	S=1:200
M-10	衛生設備 3階撤去・改修平面図	S=1:100	S=1:200
M-11	医療ガス設備 仕様書・器具図		
M-12	医療ガス設備 2階撤去平面図	S=1:100	S=1:200
M-13	医療ガス設備 2階改修平面図	S=1:100	S=1:200

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	タイトル・図面リスト	--	A-01
		工事種別		--	
		改修		--	

<b>岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事 特記仕様書</b>	
<b>I. 工事概要</b>	
1. 工事場所	一関市狐禅寺字大平 17
2. 敷地面積	131.662.0㎡ (全体)
3. 工事規模・構造等	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄筋コンクリート造
建築面積	8,564.628㎡ (全体 18,938.898㎡)
延床面積	25,508.150㎡ (全体 47,007.60㎡)
	2階改修面積: 257.350㎡
4. 工事範囲	2階 213号室から220号室及び廊下の一部をハイケアユニットに整備

- II. 建築改修工事仕様**
- 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版(以下「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版(以下「標準仕様書」という。))によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
    - 建築物解体工事共通仕様書(令和7年版)
  - 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を通する。なお、電気設備工事の特記仕様書は(E-01)図、機械設備工事の特記仕様書は(M-01)図による。
  - 本特記仕様書の表記
    - 項目は、○印の付いたものを適用する。
    - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
      - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
      - 印と◎印の付いた場合は、共に適用する。
    - 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
    - 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
    - ☐印は、「面等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1.1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。

章	項目	特記事項
各章共通事項	○工事実績情報システムへの登録	○適用する ・適用しない [1.1.4]
	○書面の書式及び取扱い	情報共有システムの適用及び機能要件 ・適用する(・現場説明書による) ・適用しない [1.1.5]
	・送届臨場の実施	送届臨場の適用及び実施内容 ・適用する(・現場説明書による) ・適用しない [1.1.14]
	○実施工程表	既成工期 ・有り(・現場説明書による) ・無し [1.2.1]
	○工事の記録等	報告に用いる書式等 現場説明書による ◎標準仕様書1.2.4(4)により整備する工事写真については次に従う 「改修工事写真撮影要領(令和5年版)による工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 令和5年度版」国土交通大臣官房官庁営繕部監修 [1.2.4]
	・電気保安技術者	・電気保安技術者の配置 ・する ・しない [1.3.3]
	・施工条件	・施工順序 ※現場説明書による ・図示による ・工事用車両の駐車場及び資機材の置場 [1.3.5]
	○発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの ・現場説明書による ・特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・現場説明書による ・現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの ・現場説明書による ・ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理方法 ・現場説明書による ・石綿及びひ素・カドミウムを含まないせっこうボードの処理方法 ・現場説明書による ・PCB含有シーリング材の分析調査及び撤去 ・現場説明書による ・特別管理産業廃棄物の分析調査 ・現場説明書による ○本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場(中間処理施設経由を含む)に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 [1.3.12]
	○環境への配慮	[1.4.1]
	1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない揮発性の可塑性を除く)が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとす。	

○材料の品質等	1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル(タイル工用)、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアークセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレフース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋼鉄製ふた [1.4.2]
○石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料(・アスベスト関係材料調査票 ・既存図面) ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソファライト、クリソタイル、クロソドライト、トリモライト 分析方法
・施工調査	サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示による ・施工数量調査の範囲及び調査方法 [1.6.2] ・図示による ・調査のための破壊部分の補修 ・図示による [1.6.3]
○技能士	適用する技能検定の職種及び作業の種別は下表による [1.5.2][1.7.2]
○施工の検査等	見本施工の実施 [1.7.5] ・適用する(適用箇所 ・現場説明書による) ◎適用しない [1.5.10][1.7.10]
○化学物質の濃度測定	1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 2) 測定対象室及び測定箇所数等は現場説明書による。 3) 測定方法は、現場説明書による。 4) 測定結果の報告は、現場説明書による。

・中間技術検査	・中間技術検査の実施 [1.8.2] ・実施回数( )回 ・実施する段階( ) ○完成時の提出図書 [1.9.1] ・1.9.2及び1.9.3による ○完成図の種類及び記入内容 [1.9.2] ・表1.9.1による ○完成写真 ※工事完成時に完成写真を撮影し、監督職員に提出する 撮影箇所及び提出サイズ、仕様 ※監督職員の指示による ○本工事完成1年後の経年検査 ○有り ・無し
○完成図等	本工事の受注者は、工事期間中、工事目的物及び工事資材(支給材料を含む)に対して、下記により保険等に参加し、その証書の写しを監督員に提出する。 (1) 加入する保険 受注者は、工事の内容により、建設工事保険、火災保険、組立保険等のうち、1以上の保険に加入する (2) 保険金 原則として請負代金額とし、保険等に必要一切の費用は受注者の負担とする (3) 保険の期間 原則として工事着工日から工事完成30日後までとする (4) 保険契約の変更 保険契約締結後に請負代金額の変更又は工期延長等があった場合は、相応の保険契約を変更すること (5) 保険証券等の提出 保険契約を締結(変更を含む)した場合は、当該保険証券等の写しを監督員に提出すること
○完成図等	
○保険加入	
○監督職員事務所等	仮設建物 ・設置する ○設置しない 規模、仕上の程度 ・現場説明書による 設備 ※監督職員との協議による ・現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・現場説明書による
○工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償 ・無償)
○工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償 ・無償)
○仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2.3.2][表 2.3.1] ○図示による 仮設間仕切りの種別と材質等
○既存部分の養生	養生方法等 [2.3.1] ○既存部分 養生方法(※ビニルシート、合板) ・( ) ○既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等) ・( ) ○既存プラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等) ・( ) 保管場所(・図示による) ・( ) ・固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・図示による 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
○仮設間仕切り	仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2][表 2.3.1]
○監督職員事務所等	仮設建物 ・設置する ○設置しない 規模、仕上の程度 ・現場説明書による 設備 ※監督職員との協議による ・現場説明書による 備品等の種類及び数量 ・現場説明書による
○工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償 ・無償)
○工事用電力	構内既存の施設 ・利用できない ○利用できる(○有償 ・無償)

・既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ・図示による POS工法及びPPOS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)①②③による 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部処理 ※監督職員と協議する ・図示による 屋根保護防水(既存) [3.3.2~5][表 3.3.3~3.3.10] 新設防水層の種類					
・アスファルト防水	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3、表3.3.4、表3.3.8及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ及び仕上りの平たんさ 仕上りの平たんさ(表8.1.5より) こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・ 立上り部の処理工法 ・乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) ・業系パネル1種(厚さ) (mm) (mm) ・れんが押え(※JIS R 1250) ・コンクリート押え ・モルタル押え(屋内) 屋根露出防水(既存) 新設防水層の種類					
改修工法	新設種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反射率防水 [G] 備考					
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3 ・B-1 ・B-2	※JIS A 9521に基づく押出法※R種 ※JIS A 9521に基づく押出法※R種 ※JIS A 9521に基づく押出法※R種	※R種 ※R種 ※R種	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
・PIB	・A-I-1 ・A-I-2 ・A-I-3 ・B-I-1 ・B-I-2	(種類) (厚さ) (mm)	※R種 ※R種 ※R種	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	・F2777618-F ・F2777618-F ・F2777618-F	※F2777618-F ※F2777618-F ※F2777618-F	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・F2777618-F ・F2777618-F ・F2777618-F	※F2777618-F ※F2777618-F ※F2777618-F	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
・P0D1 ・M2D1 ・M4D1	・D1-A ・D1-B	改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm)	※F2777618-F ※F2777618-F	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ	※改修標準仕様書表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ( )mm以上 絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りしまい位置 ※図示による 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)					
屋内防水	防水層の種類	改修工法 種別 施工箇所	・PIE ・E-1 ・P2E ・E-2	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・
保護層	・設ける(※図示による) ・ ・設けない E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位					
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法	※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 塵上排水溝 ※図示による					

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠 工事種別 改修	特記仕様書 1	---	A-02





<p>・アルミニウム製建具</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 気密性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 水密性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号・建具表による ) ・B種 (建具符号・建具表による ) ・C種 (建具符号・建具表による ) 枠の見込み寸法 (・建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号・建具表による )</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS304J1L,又はSUS304J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※汎 ・ 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ・BB-1 ・BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ・BC-1 ・BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による</p>	<p>[5.2.2~5] [表 5.2.1~2]</p>	<p>○鋼製軽量建具</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号・建具表による ) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 鋼板 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS304J1L,又はSUS304J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※汎 ・ 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.11による ・ mm 使用箇所 ( ) 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>	<p>[5.2.2] [5.5.2~4] [表5.5.1]</p>	<p>○建具用金物</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.11により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレストの取付け位置 ・ ・シリンドラ箱錠及びシリンドラ本締めり錠 (品質・性能、試験方法は別表による) ・クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)</p>	<p>[5.8.2~3]</p>	<p>・自閉式上吊り引戸 装置</p> <p>・重量シャッター</p>	<p>車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ・行わない</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 閉閉戻し ( ) 耐振撃性 ( )</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所・建具表による ) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による ) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所・建具表による ) 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※22又は12 ・ ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチ ボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS304J1L,又はSUS304J1 ・</p>	<p>[5.10.3]</p> <p>[5.11.2.3]</p>	<p>・軽量シャッター</p> <p>・オーバーヘッドドア</p>	<p>開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による ) 電動シャッターの急降下停止装置 ・設置する (設置箇所 ※建具表による) ・設置しない スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※206又はF06 ) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※A290 ) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p>	<p>[5.12.2~4]</p> <p>[5.13.2.3]</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料 による区分</th> <th>耐風圧 性能区分</th> <th>開閉方式 による区分</th> <th>収納形式 による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> <td>※バランスタイプ ・ローヘッド形 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </tbody> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所・建具表による )</p>	セクション材料 による区分	耐風圧 性能区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材料	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランスタイプ ・ローヘッド形 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	<p>[5.14.2~4]</p>										
													セクション材料 による区分	耐風圧 性能区分	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材料																
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランスタイプ ・ローヘッド形 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																													
<p>・網戸等</p> <p>[5.2.3, 5.3.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	<p>・ステンレス製建具</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号・建具表による ) ・B種 (建具符号・建具表による ) ・C種 (建具符号・建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (T-1 ・T-2) (建具符号・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号・建具表による ) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>材料 ガラス ※複層ガラス ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※汎 ・ 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による</p>	<p>[5.2.2] [5.3.2~5] [表5.3.1~2]</p>	<p>・木製建具</p> <p>性能値等 簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号・建具表による ) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304, SUS304J1L,又はSUS304J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※汎 ・ 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※汎 ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書表5.7.2(2)(f)(g)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )		・天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )		<p>[5.2.2] [5.4.2~4] [表5.2.1] [表5.4.2]</p> <p>[5.7.2~4] [表5.7.1]</p>	<p>○鋼製建具</p> <p>性能値等 耐風圧性の等級 ( ) 気密性の等級 ( ) 水密性の等級 ( ) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号・建具表による ) ・B種 (建具符号・建具表による ) ・C種 (建具符号・建具表による ) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号・建具表による ) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>	<p>[5.2.2] [5.4.2~4] [表5.2.1] [表5.4.2]</p>	<p>・自動ドア開閉装置</p> <p>戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.11による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 ( ) 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 騒音 ( ) 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 温度上昇 ( ) 耐久性 (サイクル) ( ) 防錆 ( ) 騒音 ( ) 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>[5.9.2]</p>	<p>○ガラス</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 騒音 ( ) 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>[5.8.4]</p> <p>[5.9.2]</p>	<p>・ガラス</p> <p>性能値等 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 ( ) 防錆 ( ) 防滴 ( ) 騒音 ( ) 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・ タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ</p>	<p>[5.8.4]</p> <p>[5.9.2]</p>
種類	材質	線径	網目																														
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																														
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																														
合板の種類	規格等	備考																															
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質 (※広葉樹1等 ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )																																
・天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類 )																																
<p>年度</p> <p>工事名称</p> <p>岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事</p>	<p>区分</p> <p>意匠</p> <p>工事種別</p> <p>改修</p>	<p>図面内容</p> <p>特記仕様書 4</p>	<p>縮尺</p> <p>---</p> <p>---</p>	<p>図面番号</p> <p>A-05</p>																													

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

- ・ 建具表による
- ・ 断熱性による区分
  - ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6
- ・ 日射取得性、日射遮蔽性による区分
  - ・ G ・ S
- ・ 乾燥気体の種類
  - ・ 空気 ・ アルゴン
- ・ 熱線反射ガラス
  - ・ 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
  - ・ 建具表による
  - ・ 日射熱遮へい性による区分
    - ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
  - ・ 耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
    - ・ A類 ・ B類
- ・ 倍強度ガラス
  - ・ 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
  - ・ 建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ グレージングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による
鋼製及び鋼製軽量	○ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による
ステンレス製	・ シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による
樹脂製	・ グレージングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・ 図示による

ガラス端部で特にのみ込まない部分の小口加工

- ・ 建具表による

ガラスブロック積み [5.14.5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・ 160×160	・ 95				
・ 200×200	・ 95				

壁用金属枠及び補強材

- ※図示による

カサ

材質

- ・ ステンレス鋼(SUS304)

寸法

- ※径5.5mm

形状

- ※はしご形状棟筋及び単筋

化粧目地モルタルの色（ガラスブロック製造所の指定による）

- ・ シーリングの種類（SR-1 ・ PS-1）

金属製化粧カバー

材質

- ・ ステンレス製
- ・ アルミニウム製

寸法

- ※図示による

形状

- ※図示による

目地部の横力骨の納まり

- ※ガラスブロック製造所の仕様による
- ・ 図示による

工法

- 1章 適用区分による風圧力の（1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法

ガラス用フィルム

種類	記号		その他性能等
	内貼り用	外貼り用	
・ 日射調整フィルム [G]	・ SC-1	・ SC-2	
・ 低放射フィルム	・ LE		
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2	
・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1	・ GD-2	
・ ガラス貫通防止フィルム	・ SF		

品質は、JIS A 5759による。

内装改修工事

○ 改修範囲

○ 既存壁の撤去及び下地補修

○ 既存壁の撤去及び下地補修

○ 施工一般

・ 製材 [G]

・ 造作用集材材 [G]

・ 造作用集材材 [G]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]

- ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- 図示による
- 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
  - ※壁面より真側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
- 図示による
- 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
  - ※既存のまま
  - 図示による

ビニル床シート等の除去 [6.2.2]

- ※仕上材のみ（接着剤とも）
- ・ 下地モルタルとも（○ 図示による ・ 除去範囲全て）
- 合成樹脂塗床材の除去工法
  - ・ 機械的除去工法
  - ・ 目荒し工法
- 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
- 改修後の床の清掃範囲
  - ※図示による

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]

- ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
- （全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]

- ※☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による

・ JAS 1003-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級	※A種 ・ B種		・
		※2級	※A種 ・ B種		・
		※2級	※A種 ・ B種		・

・ JAS 1003-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種		・
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種		・

・ JAS 1003-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等	※10%以下		・
		※1等	※10%以下		・
		※1等	※10%以下		・

・ JAS 1003 (製材) 以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		( )	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	・
		( )	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	・
		( )	・ 適用する ・ 適用しない	※A種 ・ B種	・

・ JAS 1152に基づく造作用集材材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等 ・ 2等	・
					※1等 ・ 2等	・
					※1等 ・ 2等	・

・ JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集材材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等	・
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等	・
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・ 2等	・

・ 造作用単板積層材 [G]

・ 合板等

・ JAS 1152 以外の造作用集材材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・
				※15%以下	・

・ JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集材材

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下	・
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下	・
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下	・

・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・ 適用する ・ 適用しない	・

・ JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下	・ 適用する ・ 適用しない	・

・ JAS 3079に基づく直文集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用
							・

・ JAS 0233に基づく普通合板 [G] [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 1等 針葉樹 ※C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない	・

・ JAS 0233に基づく構造用合板 [G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・ 1級		※1類 ・ 特類	※C-D以上	※12	・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・

保存処理の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・ 特類 ・ 1類	・ 適用する ・ 適用しない	・

・ JAS 0233に基づく天然木化粧合板 [G]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない

・ JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・ 1類 ・ 2類				・ 適用する ・ 適用しない

・ 接合具等

・ 接着剤

・ 防蟻・防蟻処理

・ 内部間仕切軸組及び床組み

・ 窓、出入口その他

・ 軽量鉄骨天井下地

・ JIS A 5908に基づくパーティクルボード [G]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ	※97又は97		※15

・ JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	品名	厚さ (mm)

・ JIS A 5905に基づくミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]

- ※隠し釘打ち
- ・ 釘頭埋め木
- ・ つぶし頭釘打ち
- ・ 釘頭隠し

請金物

- ※かすがい、産金、箱金物、短冊金物
- （改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.10F種程度）
- （形状： 寸法： 材質： ）

接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.5.3.4]

- ※F☆☆☆☆

・ 薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
・ K2 ・ K3 ・ K4	

・ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
・ 薬剤の製造所の仕様による		※JIS K 1571に適合又は同等品

・ 薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理

- 適用部位 ( )

・ 合板等の加圧注入処理等の適用

- 適用部位 ( )

・ ラワン材及びなら材の防虫処理

- 保存処理性能区分 (※ K-1 )

・ 不燃処理木材材の使用

- 適用部位 ( 図示による )

・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.6]

- ※杉又は松

・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

- ※杉又は松

・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6.5.7]

- ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

・ 野縁等の種類 [6.6.2~4]

屋外

- ※25形 ・ 19形

屋内

- ※19形 ・ 25形

屋外の形式及び寸法

- 野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔
  - ・ 図示による
- 周辺部の壁からの間隔
  - ・ 図示による
- 野縁の間隔
  - ・ 図示による

既存の埋込みインサート

- ・ 使用する
- ・ 使用しない

あと施工アンカーの施工後の確認試験

- ・ 行う
- 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
- ・ ( )箇所
- 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400mm程度
- ・ ( )箇所

・ 行わない

- ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合
- （補強方法 ※図示による）
- ・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合
- （補強方法 ※図示による）
- ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
- （補強箇所 ※図示による）
- （補強方法 ※図示による）
- ・ 屋外の軒、ピロチ等の天井における耐風圧性能を考慮した補強
- （補強箇所 ※図示による）
- （補強方法 ※図示による）

<p>◎ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>◎ ビニル床シート</p> <p>・ ビニル床タイル</p> <p>・ 特殊機能床材</p> <p>◎ ビニル幅木</p> <p>・ ゴム床タイル</p> <p>・ 接着剤</p> <p>・ カーペット敷き</p>	<p>スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書表6.7.4(5)による</p> <p>種類(記号) 色柄 厚さ(mm) 備考</p> <p>※FS(複層ビニル床シート) ・ 無地 ○ マーブル柄 ・ 柄物</p> <p>※2.0 ・</p> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p> <p>種類(記号) 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考</p> <p>※KT(2層ビニル床シート) ・ 無地 ・ 柄物</p> <p>→ 300×300 → 450×450 ・</p> <p>※2.0 ・ 3.0</p> <p>・ TT(単層ビニル床シート) ・ 無地 ・ 柄物</p> <p>→ 300×300 → 450×450 ・</p> <p>・ 2.0 ・</p> <p>・ FT(複層ビニル床シート) ・ 無地 ・ 柄物</p> <p>→ 300×300 → 450×450 ・</p> <p>・ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</p> <p>・ FOA(置き型ビニル床シート) ・ 無地 ・ 柄物</p> <p>→ 500×500 ・</p> <p>・ 4.0 ・</p> <p>・ FOB(薄型置き型ビニル床シート) ・ 無地 ・ 柄物</p> <p>・</p> <p>・ 帯電防止シート 種類 ( ) 性能 ( ) 厚さ(mm) ( )</p> <p>・ 帯電防止床タイル 種類 ( ) 性能 ( ) 寸法(mm) ( ) × ( ) 厚さ(mm) ( )</p> <p>・ 視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 ( ) 形状 ( )</p> <p>・ 耐動荷重性床シート 種類 ( ) 厚さ(mm) ( )</p> <p>・ 防滑性床シート 種類 ( ) 厚さ(mm) ( )</p> <p>・ 防滑性床タイル 種類 ( ) 寸法(mm) ( ) × ( ) 厚さ(mm) ( )</p> <p>材質の種類 ◎ 軟質 ・ 硬質</p> <p>高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100</p> <p>厚さ(mm) ※1.5以上</p> <p>種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 ( )</p> <p>厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ( ) × ( )</p> <p>下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤 ・ 床材製造所の仕様による</p> <p>・ 織じゅうたん 織り方 バイル形状 備考(参考価格)</p> <p>・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アキスミンスターカーペット</p> <p>色柄 ※模様のない無地</p> <p>バイル糸の繊維種等 ※無地の織りじゅうたんの種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ つづり織い</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p>	<p>・ タフテッドカーペット</p> <p>バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 備考(参考価格)</p> <p>・ カットバイル → 5~7 ・ 全面接着工法 ・ 適用する ・ ループバイル → 4~6 ・ ナリッパ工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用 ・</p> <p>下敷き材(グリッパ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・ タイルカーペット</p> <p>バイル形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考(参考価格)</p> <p>※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・ 第二種 ・</p> <p>・ カットバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・ 第二種 ・</p> <p>・ カット・ループ併用 ※500×500 ※6.5 ・ 第二種 ・</p> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・ 模様流し ・</p> <p>階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き ・</p> <p>見切り、押え金物 材質 ( ) 種類 ( ) 形状等 ※図示による</p> <p>種別 施工箇所 工法 仕上げの種類</p> <p>・ 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床</p> <p>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>・ 厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床</p> <p>・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂模様工法</p> <p>・ 薄膜型塗床材</p> <p>※平滑仕上げ</p> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書6.11.2(2)による</p> <p>各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・ 単層フローリング (フローリングボード1等) 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法</p> <p>樹種 ※なら 間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・ 単層フローリング (フローリングブロック1等) 樹種 ・</p> <p>厚さ(mm) ・</p> <p>大きさ ・</p> <p>間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>・ 複合フローリング 工法 ・ 釘留め工法 (・ 根太張り ・ 直張り) ・ 接着工法</p> <p>樹種 ※なら 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <p>間伐材等の適用 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート ・</p> <p>・ 現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り</p> <p>種別 ・ A種 (畳表: ・ JS ・ J1) ・ B種 ・ C種 (畳床: PS-Q20 ・ PS-Q25 ・ PS-Q30) ・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-IV ・ KT-V)</p> <p>下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ◎</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和型畳 (畳表: ・ C1 ・ C2)</p> <p>・ 合成樹脂塗床</p> <p>・ フローリング張り</p>	<p>◎ せっこうボード、その他のボード及び合板張り</p> <p>MF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6.13.2(2)(f)の(a)~(d)のいずれか</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ボード表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p> <p>種類等 厚さ(mm)、規格等</p> <p>木質系セメント板 ◎</p> <p>・ 木毛セメント板 ・ 硬質(HH) ・ 中質(MH) ・ 普通(NH) ※図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25</p> <p>・ 木片セメント板 ・ 硬質(HF) ・ 普通(NF) ※図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30</p> <p>繊維強化セメント板</p> <p>・ けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK ※図示による ・ 6 ・ 8</p> <p>火山性ガラス質複層板</p> <p>・ 火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による</p> <p>繊維強化 ◎</p> <p>・ MF(パーティクルボード) (MDF) ※図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12</p> <p>・ ホドボード ・ スリットボード (無処理) ・ 素地ホドボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 内装用化粧ホドボード (DI) ・ ホドボード (処理) ・ 素地ホドボード ・ 未研磨板 (RN) ・ 研磨板 (RS) ・ 外装用化粧ホドボード (DE)</p> <p>※図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</p> <p>・ インフレクショナルボード ・ A級インフレクショナルボード (A-1B) ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材</p> <p>※図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18</p> <p>・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板 (VN) ・ 研磨板 (VS)</p> <p>※図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</p> <p>・ 化粧パーティクルボード ・ 単板パーティクルボード (DV) ・ パーティクルボード (DV) ・ 塗装 (DC)</p> <p>※図示による ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)</p> <p>吸音材料</p> <p>・ ロックウール吸音板 (DR) ・ フライク ・ 凹凸材</p> <p>・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)</p> <p>・ ロックウール吸音ボード (1号) ※図示による ・ 25</p> <p>・ グラスウール吸音ボード (32K) ・ 25 (8'32K2包み)</p> <p>せっこうボード</p> <p>◎ せっこうボード (GB-R) ※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</p> <p>・ レジックせっこうボード (GB-S) ・ 12.5 (・ 不燃 ・ 準不燃)</p> <p>・ 強化せっこうボード (GB-F) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</p> <p>・ せっこうボード (GB-L) ・ 9.5</p> <p>・ 不燃積層せっこうボード (GB-NG) ・ 化粧無し (下地張り用) ・ 化粧有り (15'15'仕様)</p> <p>・ 9.5 (不燃)</p> <p>合板類</p> <p>・ 普通合板 ◎ 表板の樹種名: 板面品質: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>※図示による</p> <p>・ 天然木化粧合板 ◎ 化粧板の樹種名: 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・ 特殊加工化粧合板 ◎ 化粧加工の方法 ・ オイルワックス ・ グラス ・ 塗装 表面性能 防虫処理 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>※図示による</p> <p>天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 ※図示による</p> <p>合板類の張り付け ・ A種 ・ B種</p> <p>せっこうボードの目地工法等 目地工法の種類 ※仕上による</p> <p>突付け工法及び目隠し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ</p>	<p>・ 壁紙張り</p> <p>・ モルタル塗り</p> <p>・ タイル張り</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>壁紙の種類 紙 繊維 塩化ビニル グラス繊維質 その他 防火性能 備考(参考価格)</p> <p>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ A種 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ 不燃 ・ A種</p> <p>モルタル及びせっこうプaster一面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種 コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種 せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ A種</p> <p>モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示による ) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・ 目地の種類 ※押し目地 ・ 設けない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 図示による</p> <p>伸縮目地の位置 床タイル ※縦、横とも4m以内ごと ・ 図示による ・ 床タイル以外 ・ 図示による ・ 伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による 見本焼き ・ 行う (施工箇所: ) ・ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 既調合モルタル ・ 適用する (製造所の仕様による) モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、繊維材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・ 適用しない コンクリート素地面の下地処理 ・ 目隠し工法 ・ 壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>再生材料の適用</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>厚さ(mm) ・</p> <p>・ セルフレベリング材 塗り</p>	施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑性				適用	I類 II類 III類	無	有	標準	特注	有											施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑性				適用	I類 II類 III類	無	有	標準	特注	有											<p>区分</p> <p>意匠</p> <p>工事種別</p> <p>改修</p> <p>図面内容</p> <p>特記仕様書 6</p> <p>縮尺</p> <p>図面番号</p> <p>A-07</p>
施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑性																																																								
			適用	I類 II類 III類	無	有	標準	特注	有																																																								
施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑性																																																								
			適用	I類 II類 III類	無	有	標準	特注	有																																																								
年度	工事名称				<p>岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事</p>																																																												

7 塗装改修工事

○ 材料

屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ※次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

○ 下地調整

塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ※図示による

既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う (箇所) ・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はR種	-
鉄鋼面	※R種	-
亜鉛めっき鋼面	※R種	-
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※R種	-
モルタル面及びせつこうプaster面	※R種	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※R種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せつこうボード面及びその他ボード面	※R種	-

(7.3.2~7)

下地面等	種類
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・A種
鉄鋼面 (DP以外)	※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面 (DP)	※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種
モルタル面及びせつこうプaster面	※B種 ・A種
コンクリート面 (DP以外)及びALCパネル面	※B種 ・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	・A種 ・B種
コンクリート面 (DPのみ)	※B種 ・A種
せつこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法 ※A種 ・B種 目地: 継目処理工法以外 ※B種 ・A種

○ 錆止め塗料塗り

錆止めの塗料塗りの種類 (7.4.2.3)

素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類
鉄鋼面 (工程の種類は表7.4.3)	SOP	塗替え Aα種 ※C種 新規見え隠れ Aα種 ※A種	
	EP-G	塗替え ※Bα種 ・Aα種 ※C種 新規見え隠れ ※Bα種 ・Aα種 ※A種	
	DP	塗替え 7.4.2(1)(b)による	・B種(下地調整R種) ・C種(下地調整RC種)
		新規 7.4.2(1)(a)による	・A種
亜鉛めっき鋼面 (工程の種類は表7.4.5)	SOP	塗替え ※Bz種 ・Az種 ※C種 新 鋼製建具等 ※Az種 ・Bz種 ※A種 規 其他 ※Bz種 ※B種	
	EP-G	塗替え Cz種 ※C種 新 鋼製建具等 Cz種 ※A種 規 其他 Cz種 ※B種	
	DP	塗替え Bz種	表7.4.6による
		新規 Bz種	表7.4.6による

○ 塗装 (7.6.2~7.12.2)

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種
塗装の種類 ※1種 ・2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り (GL)		※B種 ・A種 (着色塗料の種類: )	※B種 (着色塗料の種類: )
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	-	表7.8.11による
	亜鉛めっき鋼面	-	表7.8.21による
	上塗り等級 ( ) 級	-	表7.8.21による
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	-	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・A種
	屋内の木部	※B種	※A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種 ・B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種	・A種 ・B種
	・合成樹脂エマルジョン各種塗料塗り (EP-T)	※B種	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	※B種	※B種 ・A種	
・ステイン塗り	・ビグメント ・ステイン塗		表7.12.11による
・木材保護塗料塗り (WP)	※B種 ・A種	※B種 ・A種	

つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (UP-T)面、珪砂面、せつこう 3A面、せつこう F-D面、その他-D面)の塗替えのしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする

合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えのしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り (G) 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ※RB種 ・RA種 ・RC種

工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m)
	規格番号	規格名称	種類	等級	
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用

・適用しない

・適用する (着色剤: ・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)

ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用

・適用する

・適用しない

○ 耐震改修工事

改修特記仕様書 (その8) (その9)による

・石綿含有建材の除去工事 (9.1.1~6)

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各地工箇所ごと)
・測定 1	処理作業前		処理作業室内	・計 点
			調査対象室外部の付近	・計 点
			処理作業室内	・計 点
			セキュリティゾーン入口	・計 点
・測定 5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室内の場合)	・計 点
			処理作業室内	・計 点
・測定 6	処理作業後 (シート養生中)		・施工区画周辺	・計 点
			・敷地境界	・計 点
・測定 7	処理作業後 (シート養生中)		処理作業室内	・計 点
			調査対象室外部の付近	・計 点
・測定 8	処理作業後		処理作業室内	・計 点
			調査対象室外部の付近	・計 点
・測定 9	処理作業後 (シート除去後 1週間以降)		処理作業室内	・計 点
			調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法

自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定 5	

・JIS K 3890-11に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ 直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定 4	25	5	30
・測定 5	47	10	120
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲

・図示による

除去工法

※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去

除去対象範囲

・図示による

除去方法

・破砕して除去 ・手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

※湿潤化 ・固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去

除去対象範囲

・図示による

隔離養生 (負圧不要) 方法

・図示による

足場

・図示による

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

・埋立処分 (安定型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去

除去対象範囲

・図示による

除去した石綿含有成形板の処分

・石綿含有せつこうボード

※埋立処分 (管理型最終処分場)

・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板

・埋立処分 (安定型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材)の除去

除去対象範囲

・図示による

除去工法

・養生方法

除去した石綿含有仕上塗材の処分

・埋立処分 (安定型最終処分場)

・埋立処分 (管理型最終処分場)

・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事

・図示による

○ 外断熱改修工事 (9.2.1~4)

断熱材の種類

・断熱材の厚さ (mm)

施工箇所

・図示による

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

種類	防火性能	備考

鋼材

改修特記仕様書第3章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。

塗木

改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製塗木による。

既存外壁の処理

既存外壁仕上材の撤去

・行う ・行わない

下地面の清掃

・行う ・行わない

欠損部の改修工法

・改修特記仕様書第4章 外断熱改修工事による

工法

1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整

断熱材の施工

・断熱材製造所の仕様による

外装材の施工

・外装材製造所の仕様による

通気層の有無

・有 ( ) ・無

外装材の外壁への取付け

・図示による

塗木の施工

・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製塗木による

○ 断熱・防露改修工事 (9.3.2~4)

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

工法

・断熱材打込み工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

施工場所

・断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

・A種I ・A種II

吹付け厚さ (mm)

・25 ・30

施工箇所

・図示による

・断熱材後張り工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

・断熱材にせつこうボード等を張り付けたパネル

材質

厚さ (mm)

張り付け工法

断熱材の張り付け工法

断熱材へのボードの張付け工法

○ 屋上緑化改修工事 (9.4.2~4)

植栽基盤及び材料

・屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

※図示による

見切り材、植栽材、排水孔、マルチング材等

※図示による

工法

1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

かん水装置

・設置する (種類 )

既存保護層の撤去

・行う ・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間

※引渡しの日から1年

適用範囲: 歩道 (9.5.1~5.9)

既存舗装の撤去及び再利用

※図示による

路床

種類	材料	厚さ (mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 (G)	・図示による
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン (G) ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による
・フィルター層	・砂	・図示による

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

・行う ・行わない

路床安定処理

・適用しない

安定処理の方法

・置き換え工法

・安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

・普通ポルトランドセメント

・高炉セメントB種 (G)

・フライアッシュセメントB種

・生石灰 (・特号 ・1号)

・消石灰 (・特号 ・1号)

添加量

kg/ (目標CBR 3以上 )

目標CBRを満足する添加量の求め方

・安定処理土のCBR試験

・ジオテキスタイル

単位面積質量

・60g/m<sup>2</sup>以上

厚さ (mm)

・0.5~1.0

引張強さ

・80N/5cm (10kg/5cm)以上

透水係数

・1.5x10<sup>-3</sup>以上

試験

路床土の支持力 (CBR) 試験

・行う ・行わない

路床締固め試験

・行う ・行わない

現場CBR試験

・行う ・行わない

路盤

路盤の厚さ

・図示による

路盤材料 (改修標準仕様書表9.5.3による種類)

・クラッシュラン

・粒度調整砕石

・再生クラッシュラン (G)

・再生粒度調整砕石 (G)

・クラッシュラン鉄鋼スラグ (G)

・粒度調整鉄鋼スラグ (G)

・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ (G)

舗装の構成

・図示による

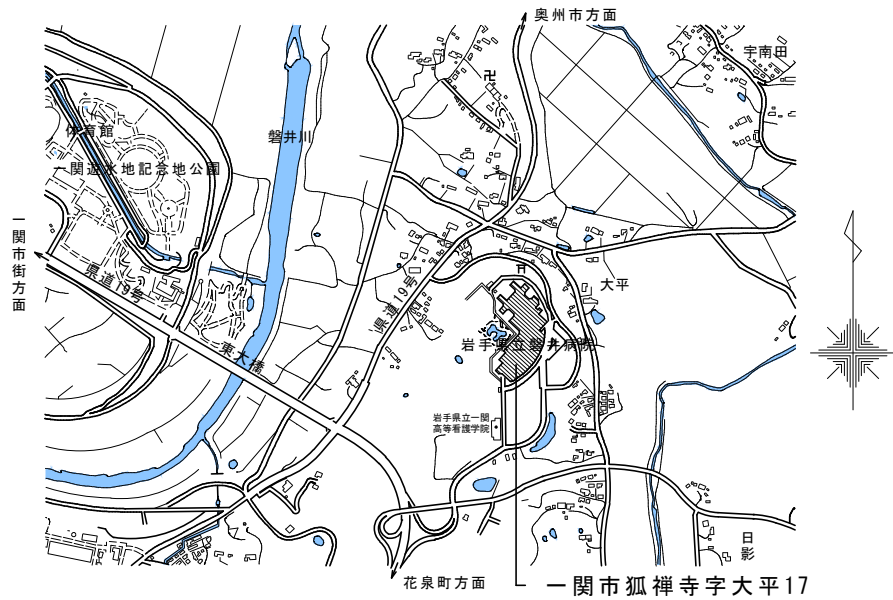
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

・行う ・行わない

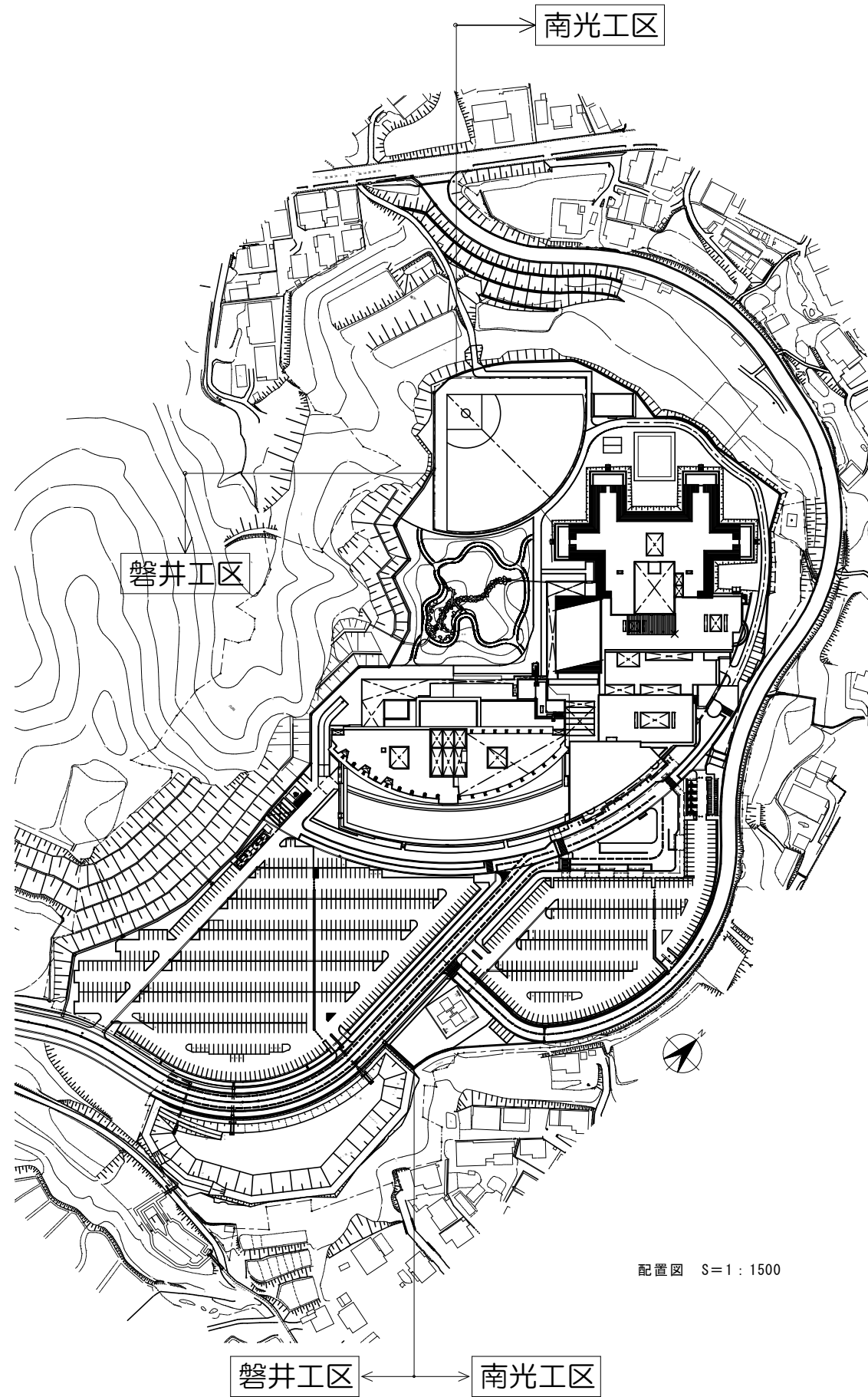
舗装の平坦性

※著しい不陸がないもの

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	特記仕様書 7	---	A-08
		工事種別		---	
		改修		---	

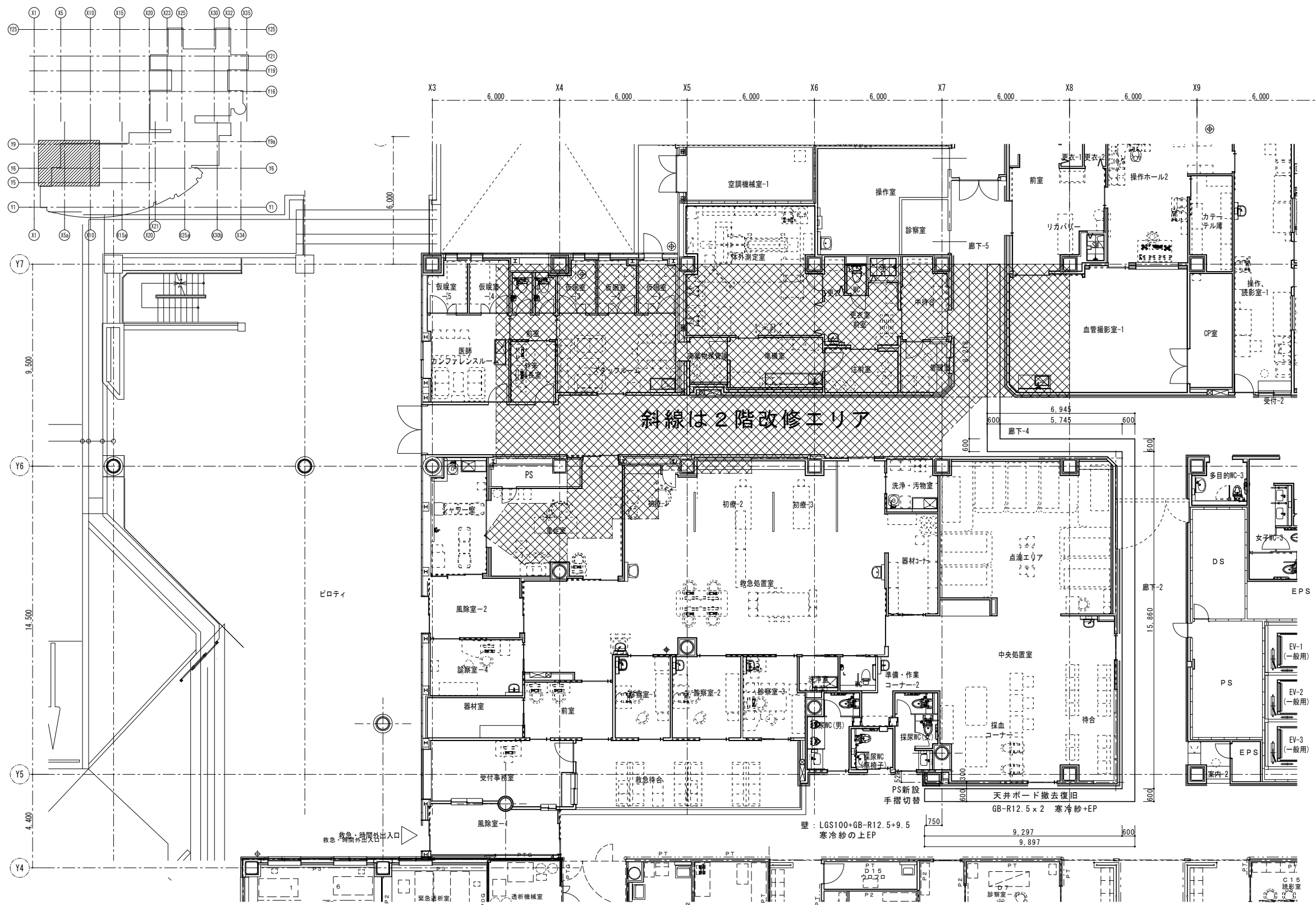


案内図

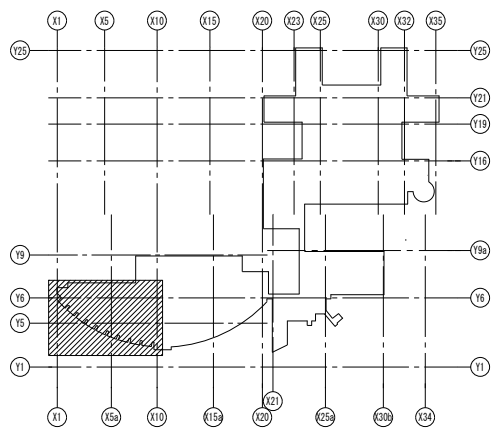
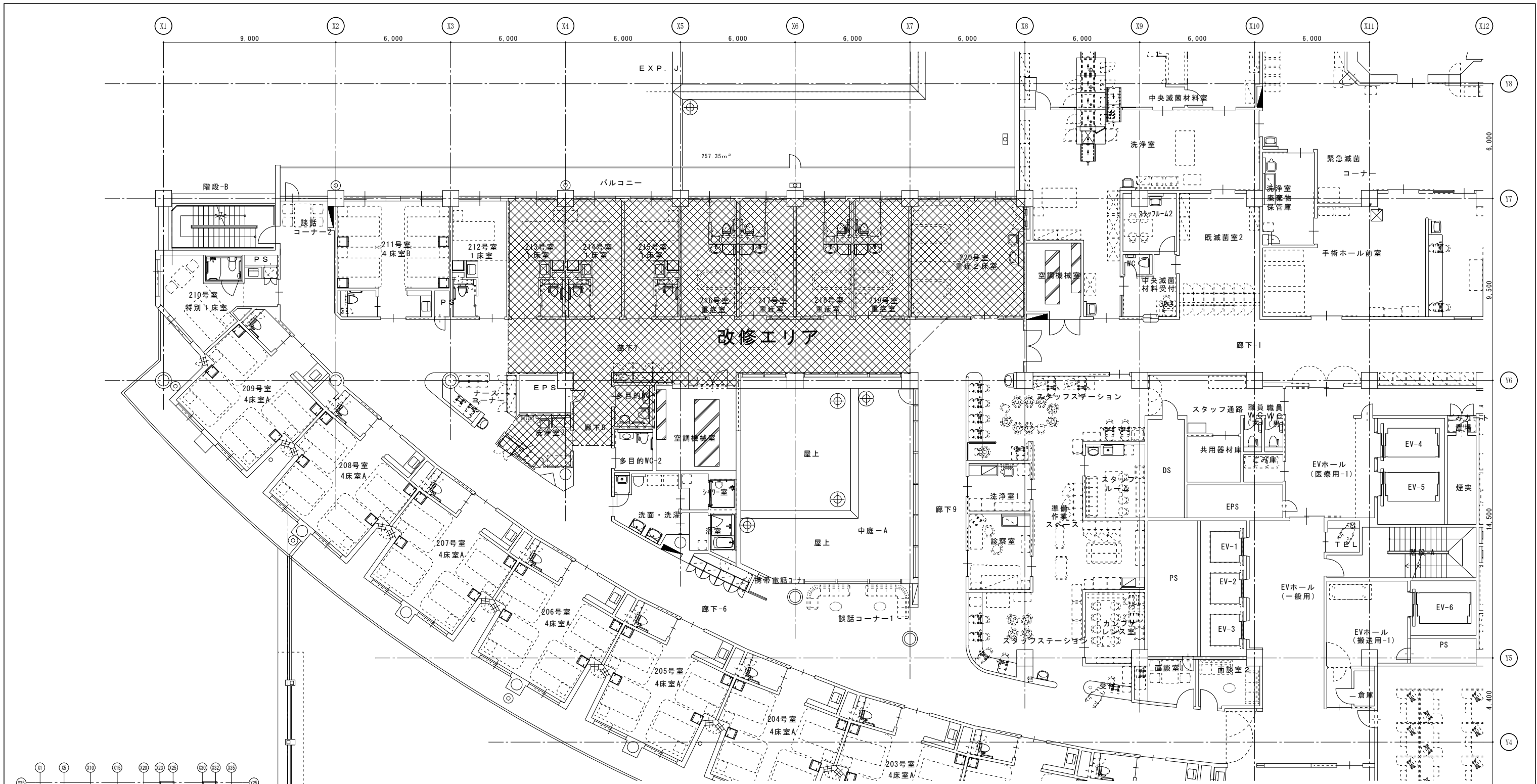


配置図 S=1:1500

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	案内図・配置図	A1 S=1:1500	A-09
		工事種別		A3 S=1:3000	
		改修			



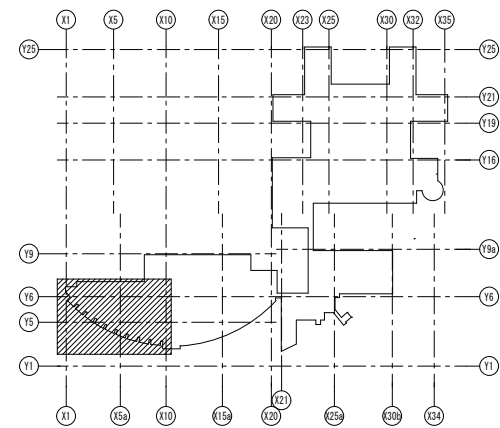
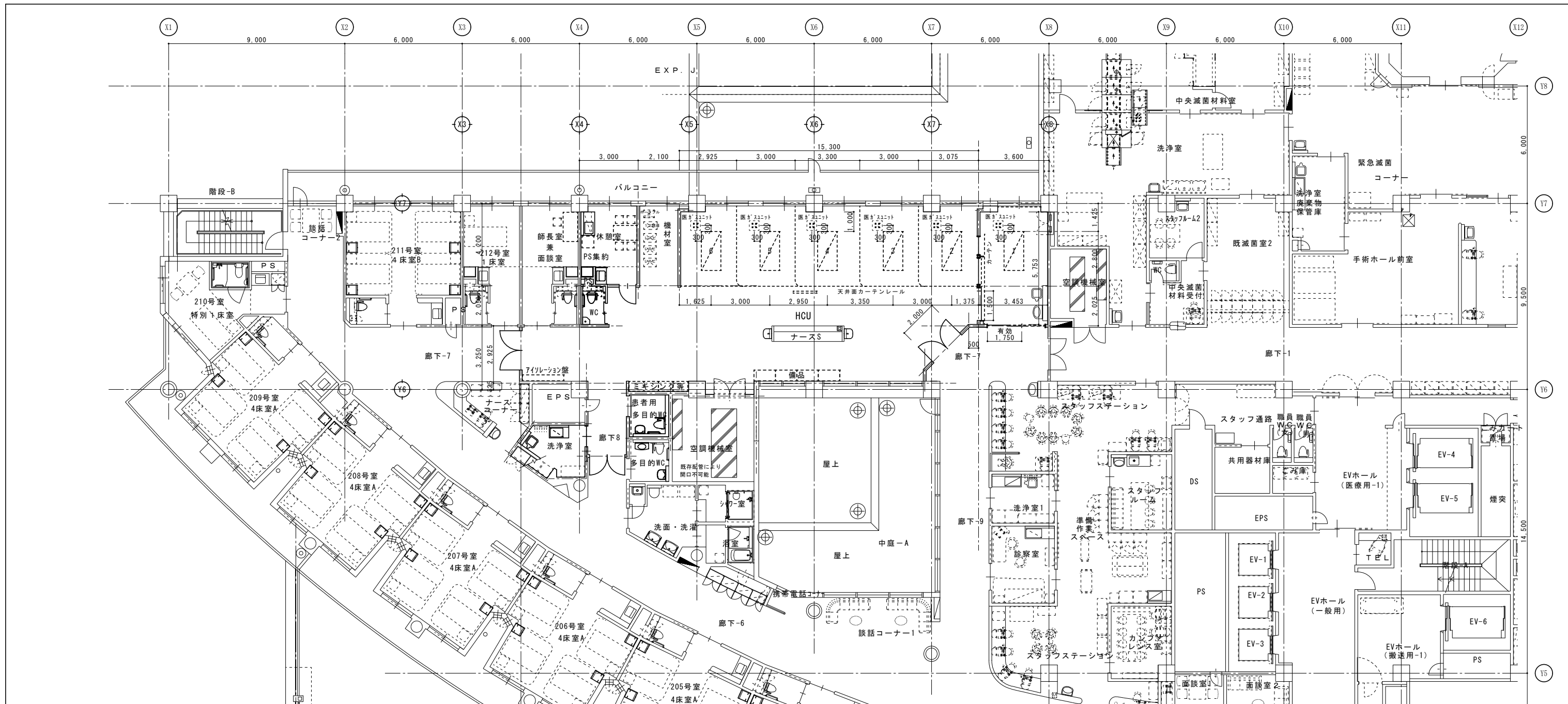
年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	改修：1階平面図	A1 S=1:100 A3 S=1:200	A-10
		工事種別			
		改修			



既存仕上表

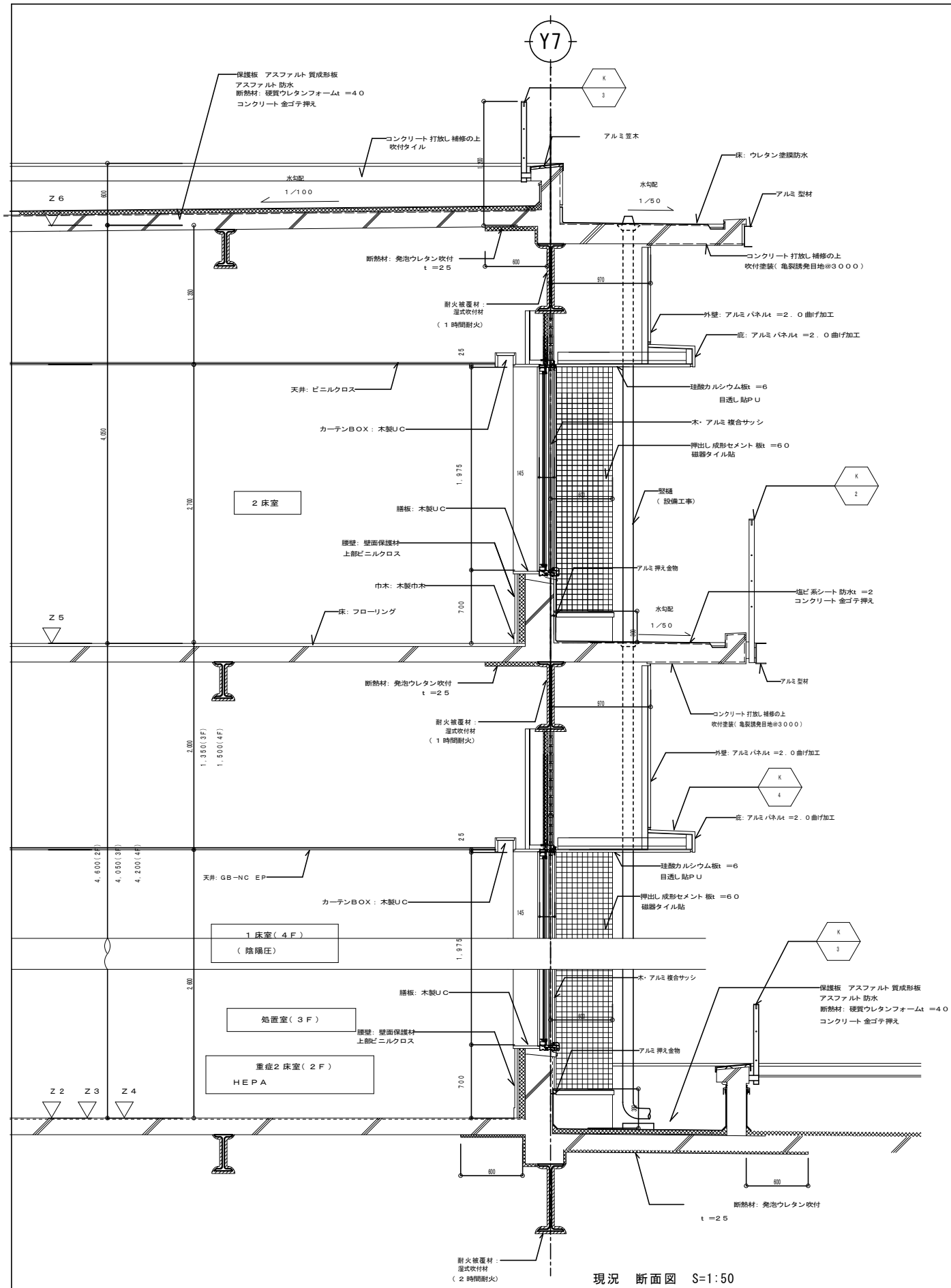
室名	床	巾木	壁	天井	備考
重症個室 (HEPA)	ビニル床シートC	床材巻上	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.700	カーテンレール 医療ユニット、収納ユニット
重症個室 (HEPA) WC	ビニル床シートB	床材巻上 300	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	PU GB-R EP V 2.500	大便器ライニング、番原欄
重症2床室 (HEPA)	ビニル床シートC	床材巻上	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.700	カーテンレール
廊下-6	タイルカーペット	ソフト巾木	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.500	手摺、収納、飾り壁
廊下-7	タイルカーペット	ソフト巾木	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.500	手摺、収納
廊下-8	タイルカーペット	ソフト巾木	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.500	手摺
廊下-9	タイルカーペット	ソフト巾木	壁: 壁紙保護材 (H=950) 上部: EP	GB-R EP V 2.500	手摺
空調機械室 (1-201)	エポキシ系防塵塗床	床材立上	壁: ガラスワールt=50	ガラスワールt=50 ガラスクロス押え	機械基礎

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	現況 2階平面図	A1 S=1:100	A-11
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			

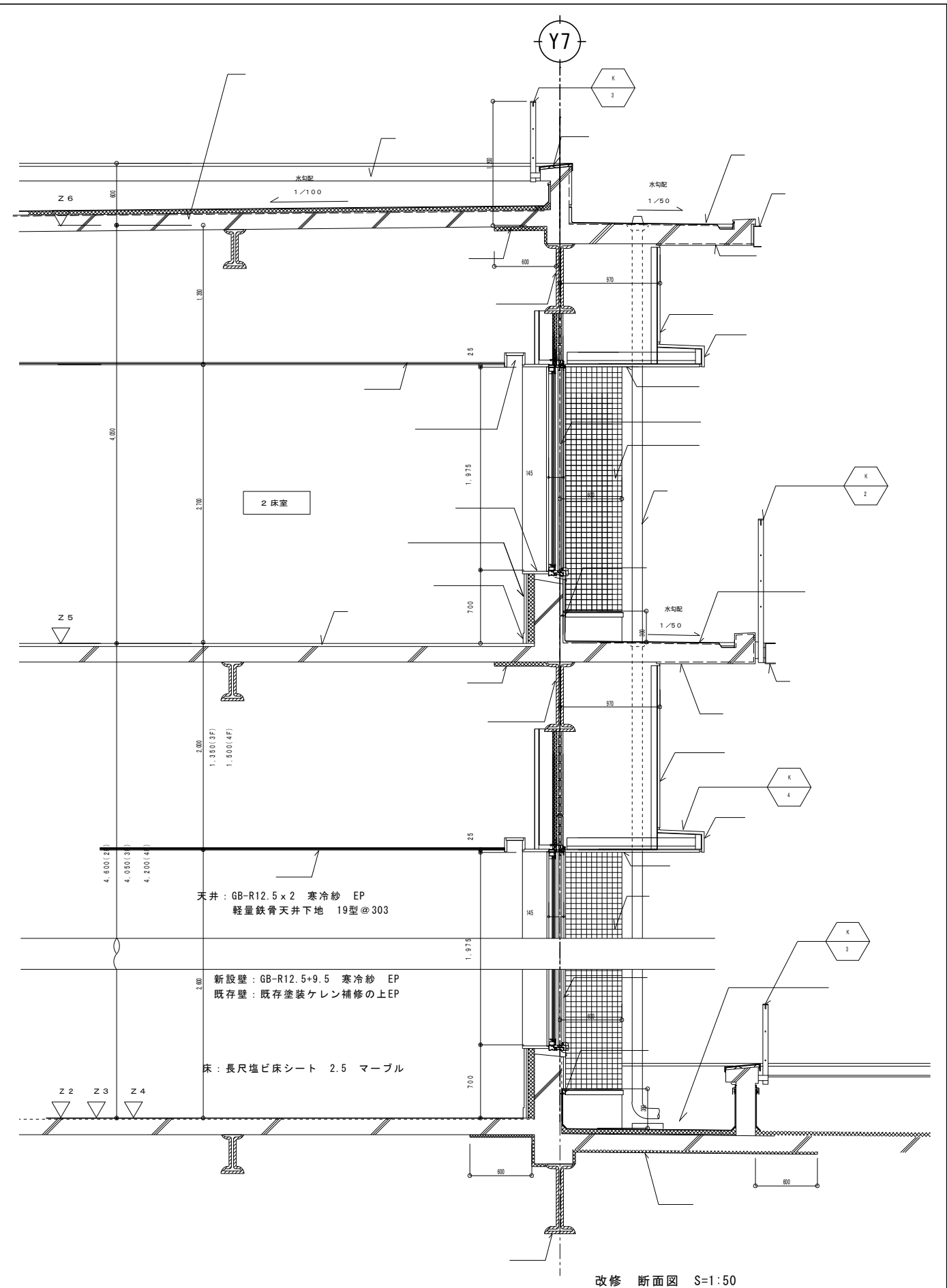


室名	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
HCU	ビニル床シート 2.5 溶接工法	ソフト巾木 60	新設 GB-R12.5+9.5 寒冷紗 EP 軽量間仕切り下地W100@300 改修 清掃下地調整 EP	GB-R 12.5x 2 寒冷紗 EP 軽量鉄骨天井下地19型@300	V	2.700 一部2.500	天井カーテンレール
HCU(個室)	ビニル床シート 2.5 溶接工法	ソフト巾木 60	新設 GB-R12.5+9.5 寒冷紗 EP 軽量間仕切り下地W100@300 改修 清掃下地調整 EP	GB-R 12.5x 2 寒冷紗 EP 軽量鉄骨天井下地19型@300	V	2.700	天井カーテンレール
機材室	ビニル床シート 2.5 溶接工法	ソフト巾木 60	新設 GB-R12.5+9.5 寒冷紗 EP 軽量間仕切り下地W100@300 改修 清掃下地調整 EP	GB-R 12.5x 2 寒冷紗 EP 軽量鉄骨天井下地19型@300	V	2.700	
休憩室	ビニル床シート 2.5 溶接工法	ソフト巾木 60	新設 GB-R12.5+9.5 寒冷紗 EP 軽量間仕切り下地W100@300 改修 清掃下地調整 EP	GB-R 12.5x 2 寒冷紗 EP 軽量鉄骨天井下地19型@300	V	2.700	
洗浄室	ビニル床シート 2.5 溶接工法	ソフト巾木 60	新設 GB-R12.5+9.5 寒冷紗 EP 軽量間仕切り下地W100@300 改修 清掃	ケイカル板6 EP 軽量鉄骨天井下地19型@300	V	2.500	
患者用多目的WC	既存のまま	既存のまま	改修 清掃	既存のまま	V	2.500	
多目的WC	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	V	2.700 一部2.500	

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	改修 2階平面図	A1 S=1:100	A-12
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			

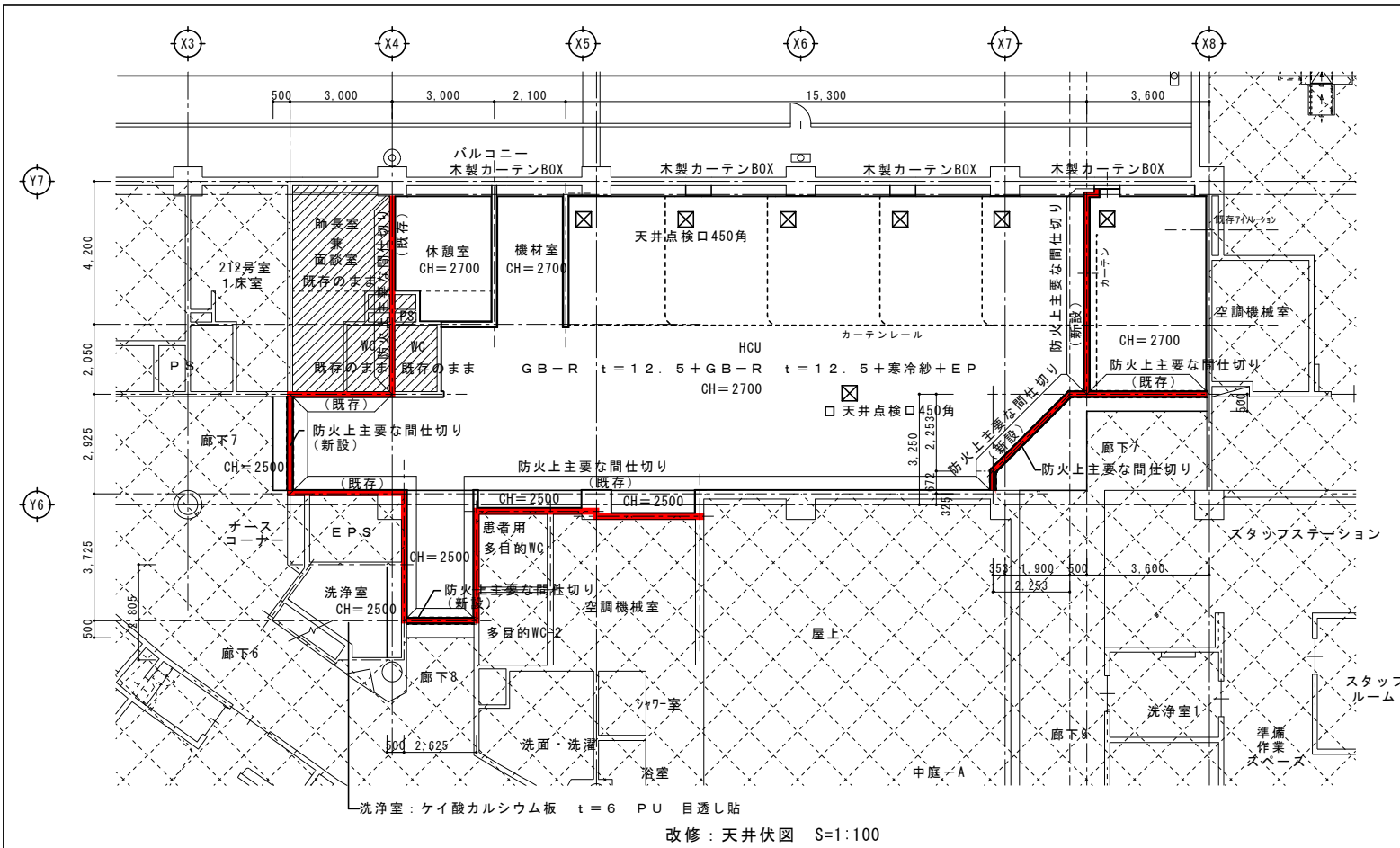


現況 断面図 S=1:50

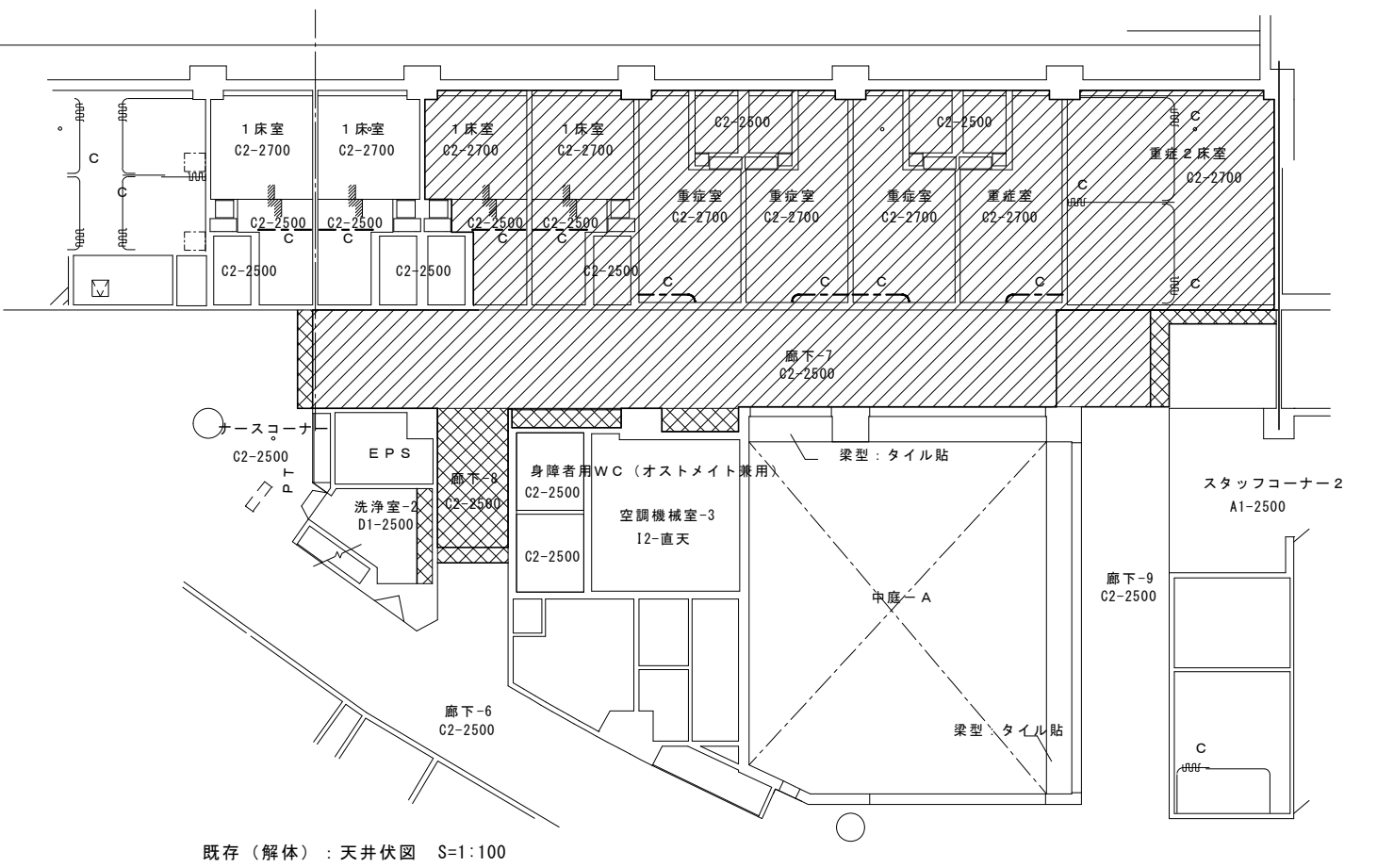


改修 断面図 S=1:50

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	現況・改修: 断面図	A1 S=1:50	A-13
		工事種別		A3 S=1:100	
		改修			



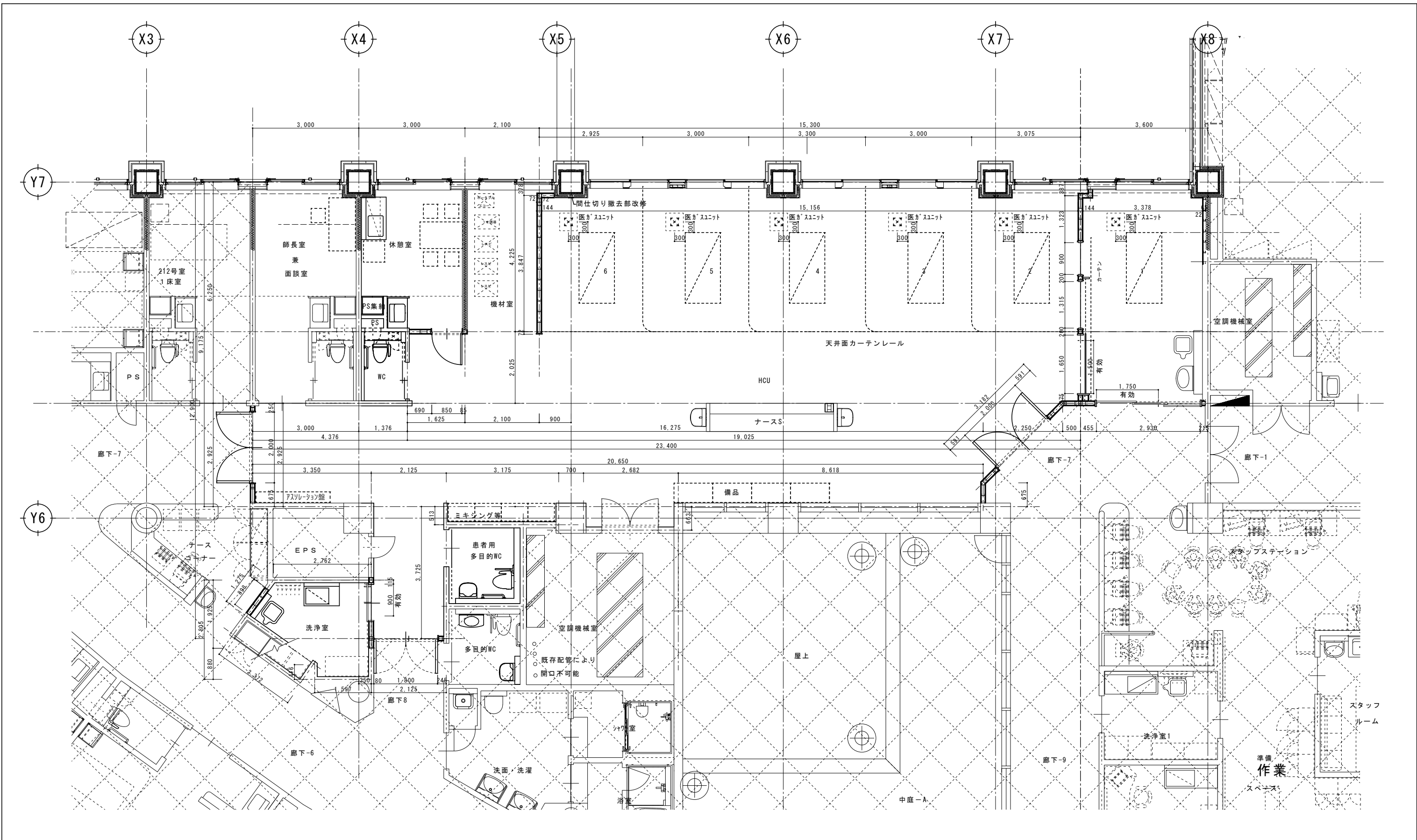
特記以外天井  
LGS19型下地  
GB-R t=12.5+GB-R t=12.5+寒冷紗+EP  
防火上主要な間仕切り  
LGS下地両面GB-R12.5+GB-R9.5  
FP060NP-0473-1



既存仕上表

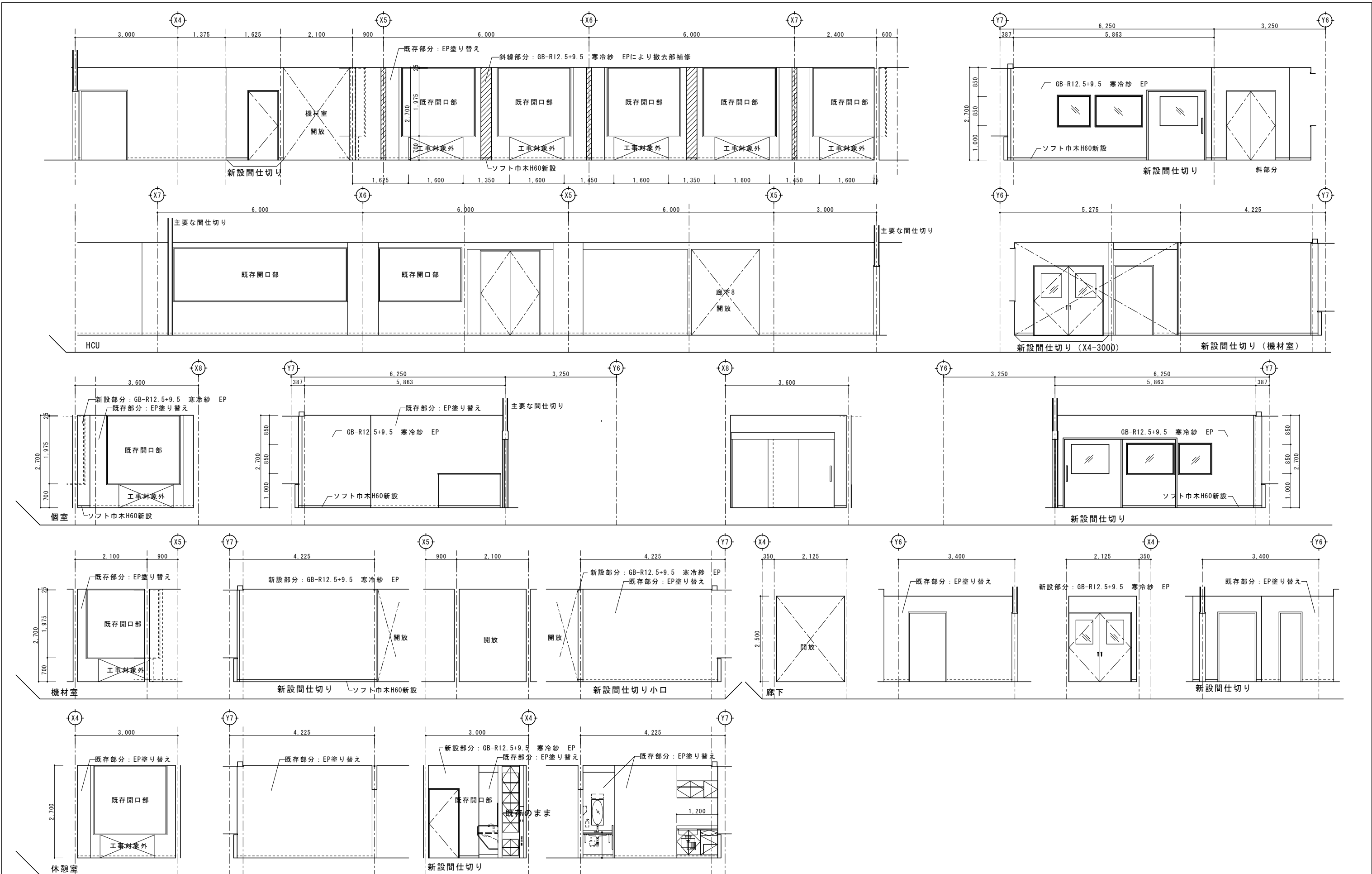
凡例			
A1	GB-NC t=9.5 RB t=9	H1	コンクリート打放し補修
A2	GB-NC t=9.5 RB t=15	H2	コンクリート打放し補修の上吹付タイル
B1	GB-D t=9.5	H3	躯体現わし
B2	GB-D t=9.5 (杉柱)	I1	グラスウール t=25 ガラスクロス押え
C1	GB-R t=9.5 ビニールクロス	I2	グラスウール t=50 ガラスクロス押え
C2	GB-R t=12.5+GB-R t=12.5+寒冷紗+EP	J1	アルミスパンドレル F-BE
D1	ケイ酸カルシウム板 t=6 PU 目透し貼	J2	アルミバスリブ (フクビ バスパネル程度)
D2	施軸着色ケイ酸カルシウム板 t=6	J3	金属製波型吸音材 t=0.35
D3		K	グラスウール成型板 (シールド部)
D4	ケイ酸カルシウム板 t=6 PU 目地シール	L	手術用化粧パネル
E1		M	鋼製のこ
E2		N	セラミック処理木材 (テクノバル程度)
E3		P	カラー鋼板断熱パネル t=41
F	天然木練付化粧板 t=6 UC RB	X	段差OP
G	スチール OP	C	カーテンレール

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	現況・改修 天井伏図	A1 S=1:100	A-14
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			

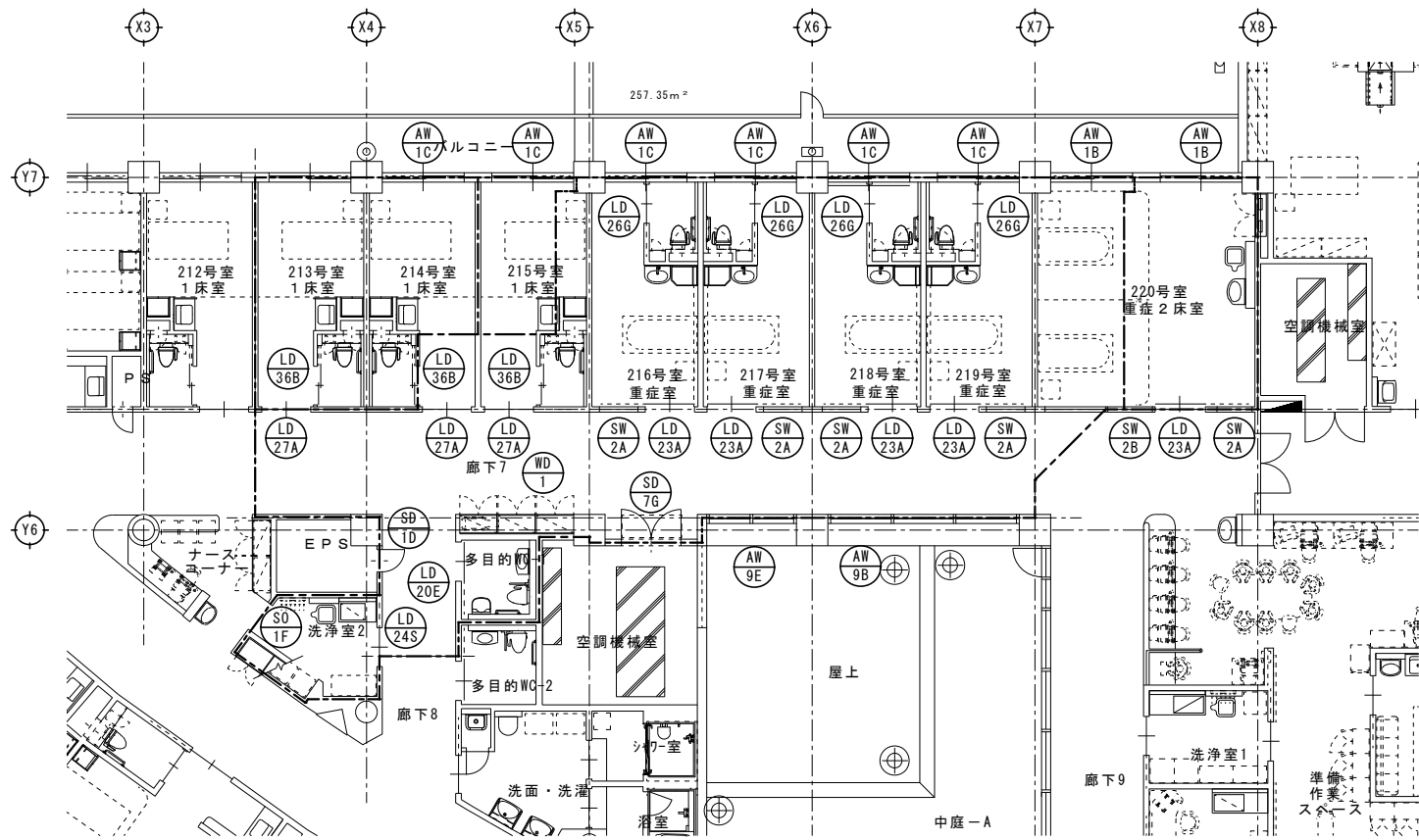


改修 平面詳細図 S=1:50

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	改修 平面詳細図	A1 S=1:50	A-15
		改修		A3 S=1:100	



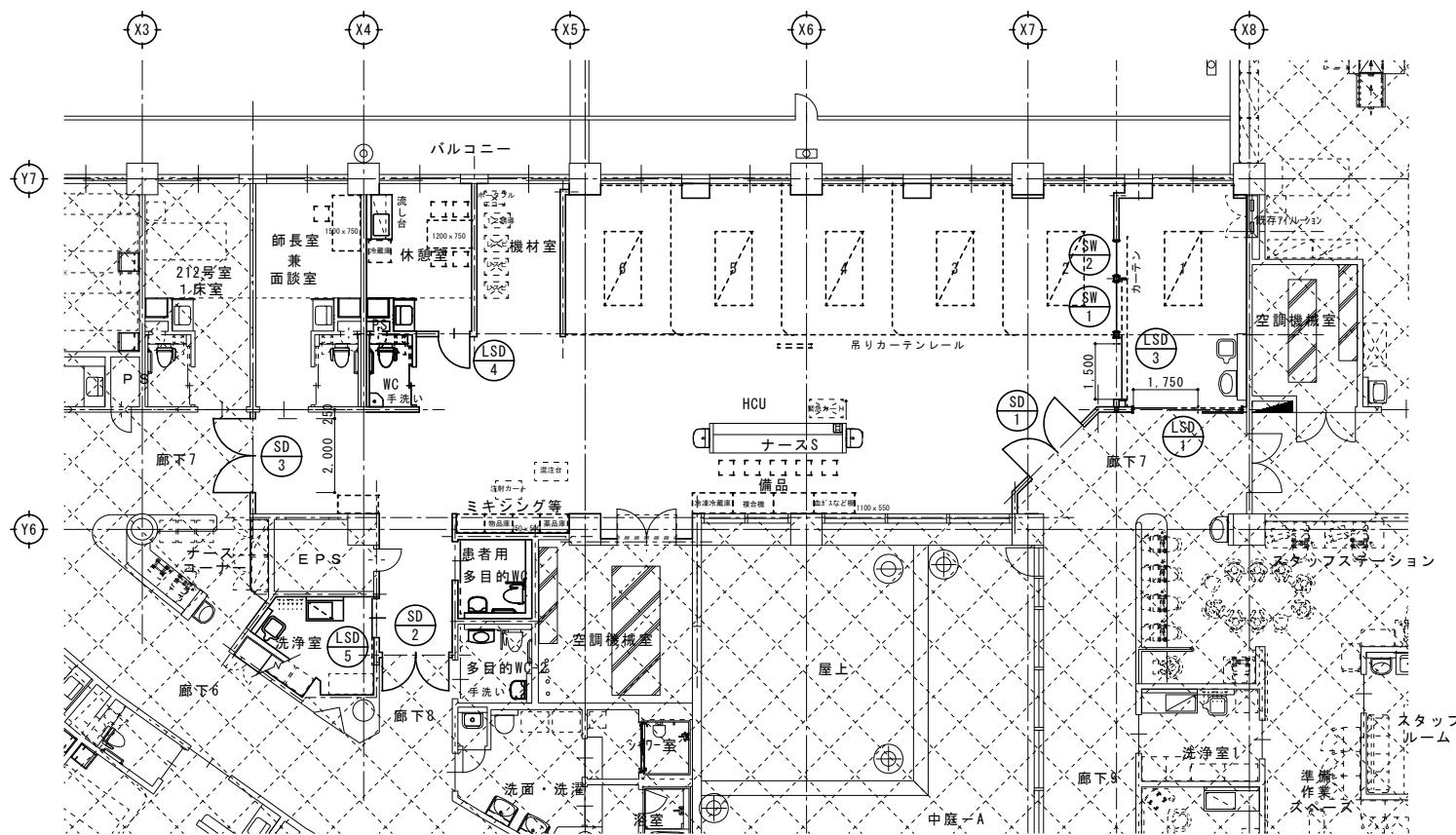
年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	改修 展開図	A1 S=1:50	A-16
		工事種別		A3 S=1:100	
		改修			



既存建具KEY-PLAN S=1:100

符号・数	LD 23A 既存病室 5箇所	LD 24S 洗淨室 1箇所	LD 26G 既存重症室WC 4箇所	LD 27A 既存病室 3箇所	LD 36B 既存重症室WC 3箇所	SW 2A 既存病室 5箇所	SW 2B 既存病室 1箇所		
形態									
工事区分	撤去	撤去	撤去	撤去: 2箇所 既存まま: 1箇所	撤去: 1箇所 既存まま: 2箇所	撤去	撤去		
形式・材種	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	二重引きフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	嵌め殺し窓・スチール	嵌め殺し窓・スチール		
仕上・見込	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	OP・枠150	OP・枠150		
硝子	FL3 (100角)	-	FL3 (100角)	FL3 (100角)	-	FL6+ブラインド+FL6	FL6+ブラインド+FL6		
金物	引戸錠 (シリンダー)	-	引戸錠 (シリンダー+サムターン)	引戸錠 (シリンダー)	引戸錠 (シリンダー+サムターン)	-	-		
符号・数	LD 20E 多目的WC 1箇所	SD 1D EPS 1箇所	SO 1F 洗淨室 1箇所	SD 7G 空調機械室 1箇所	AW 1B 病室 2箇所	AW 1C 重症病室 6箇所	AW 9B 廊下 1箇所	AW 9E 廊下 1箇所	WD 1 廊下 1箇所
形態									
工事区分	既存のまま	既存のまま	撤去	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	撤去
形式・材種	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	片引きフラッシュ戸・スチール1.2	開閉枠・スチール1.2	開閉きフラッシュ戸・スチール1.2	片引き窓・アルミ	片引き窓・アルミ	嵌め殺し窓+縦開閉し窓・アルミ	嵌め殺し窓+縦開閉し窓・アルミ	開閉きフラッシュ戸・木製
仕上・見込	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	OP・厚40	OP・枠幅150	OP・厚60	電解着色・枠145	電解着色・枠145	電解着色・枠70	電解着色・枠70	化粧合板・40
硝子	FL3 (100角)	-	-	-	-	-	-	-	-
金物	引戸錠 (シリンダー+サムターン)	本締錠	本締錠	本締錠	クレセント	クレセント	開閉オペレータ	開閉オペレータ	-

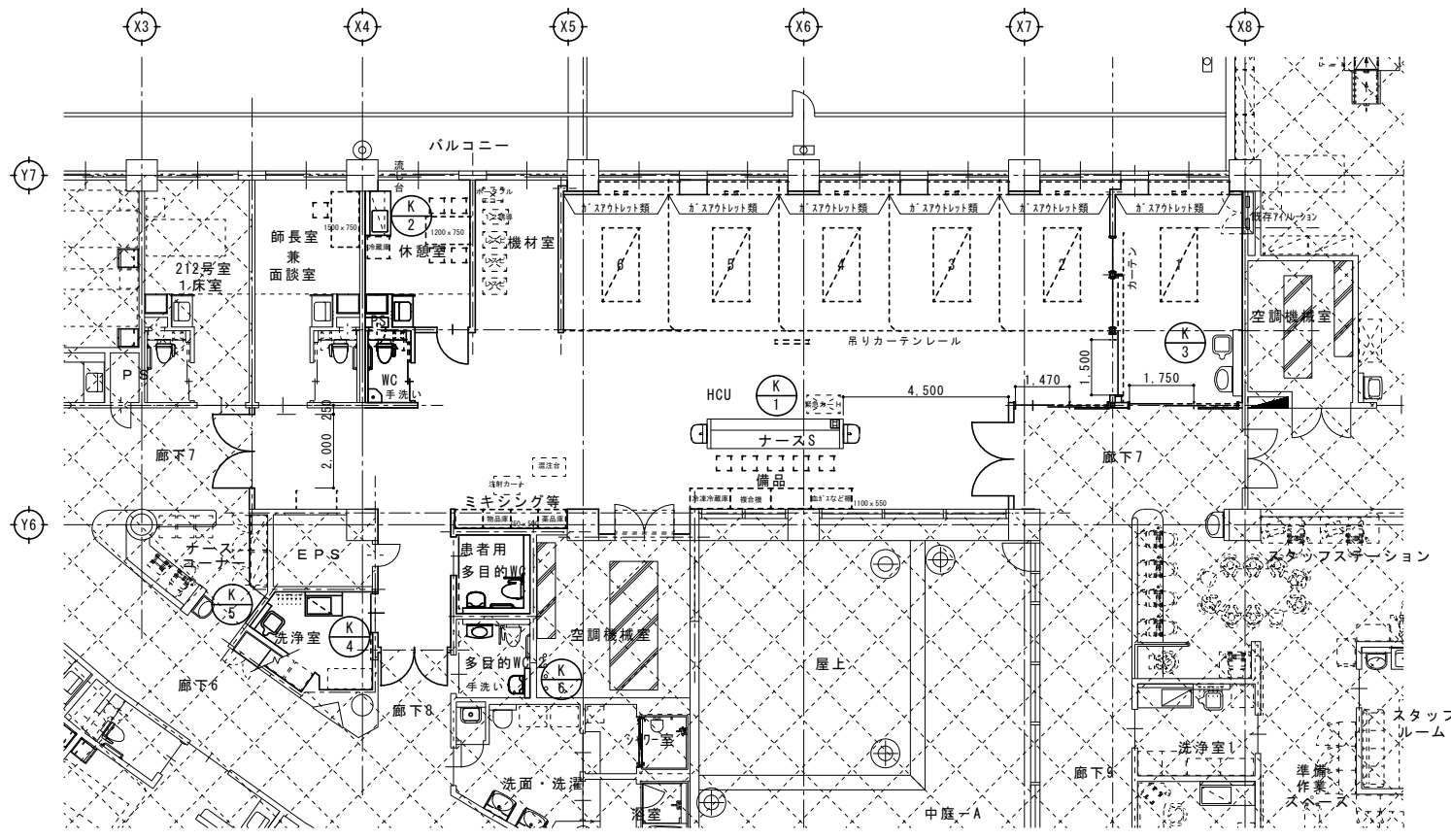
年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	現況 建具KEY・建具表 (撤去)	A1 S=1:100 A1 S=1:50	A-17
		工事種別		A3 S=1:200 A3 S=1:100	
		改修			



建具KEY-PLAN S=1:100

符号・数	SD 1 HCU (廊下7) 1箇所	SD 2 HCU (廊下8) 1箇所	SD 3 HCU (廊下7) 1箇所	LSD 1 HCUベッド1 (個室) 1箇所	LSD 2 HCUベッド2 1箇所	LSD 3 HCUベッド2 1箇所	LSD 4 休憩室 1箇所
形態							
形式・材種	両開き額入りフラッシュ戸・スチール1.2	両開き額入りフラッシュ戸・スチール1.2	両開き額入りフラッシュ戸・スチール1.2	二重引きフラッシュ戸 (戸袋付)・スチール0.6	二重引きフラッシュ戸 (戸袋付)・スチール0.6	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	片引き額入りフラッシュ戸・スチール0.6
仕上・見込	OP・扉60	OP・扉60	OP・扉60	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	アクリル樹脂焼付塗装・厚40
硝子	TP4 (型板)	TP4 (型板)	TP4 (型板)	-	-	TP4 (透明)	TP4 (型板)
金物	フロアヒンジ・ドアチェック (止無)・レバーハンドル錠	フロアヒンジ・ドアチェック (止無)・レバーハンドル錠	フロアヒンジ・ドアチェック (止無)・レバーハンドル錠	引戸錠 (シリンダー+サムターン)	引戸錠 (シリンダー+サムターン)	-	丁番・ドアチェック (止有)・レバーハンドル錠
備考	シリンダー+サムターン・下枠SUS	シリンダー+サムターン・下枠SUS	シリンダー+サムターン・下枠SUS	-	-	-	シリンダー+サムターン・下枠SUS
符号・数	LSD 5 洗浄室 1箇所	SW 1 HCUベッド1 (個室) 1箇所	SW 2 HCUベッド1 (個室) 1箇所				
形態							
形式・材種	片引き額入りフラッシュ戸 (戸袋無)・スチール0.6	嵌め殺し窓・スチール	嵌め殺し窓・スチール				
仕上・見込	アクリル樹脂焼付塗装・厚40	OP・枠175	OP・枠175				
硝子	TP4 (透明)	TP4 (透明)	TP4 (透明)				
金物	-	-	-				
備考	-	-	-				

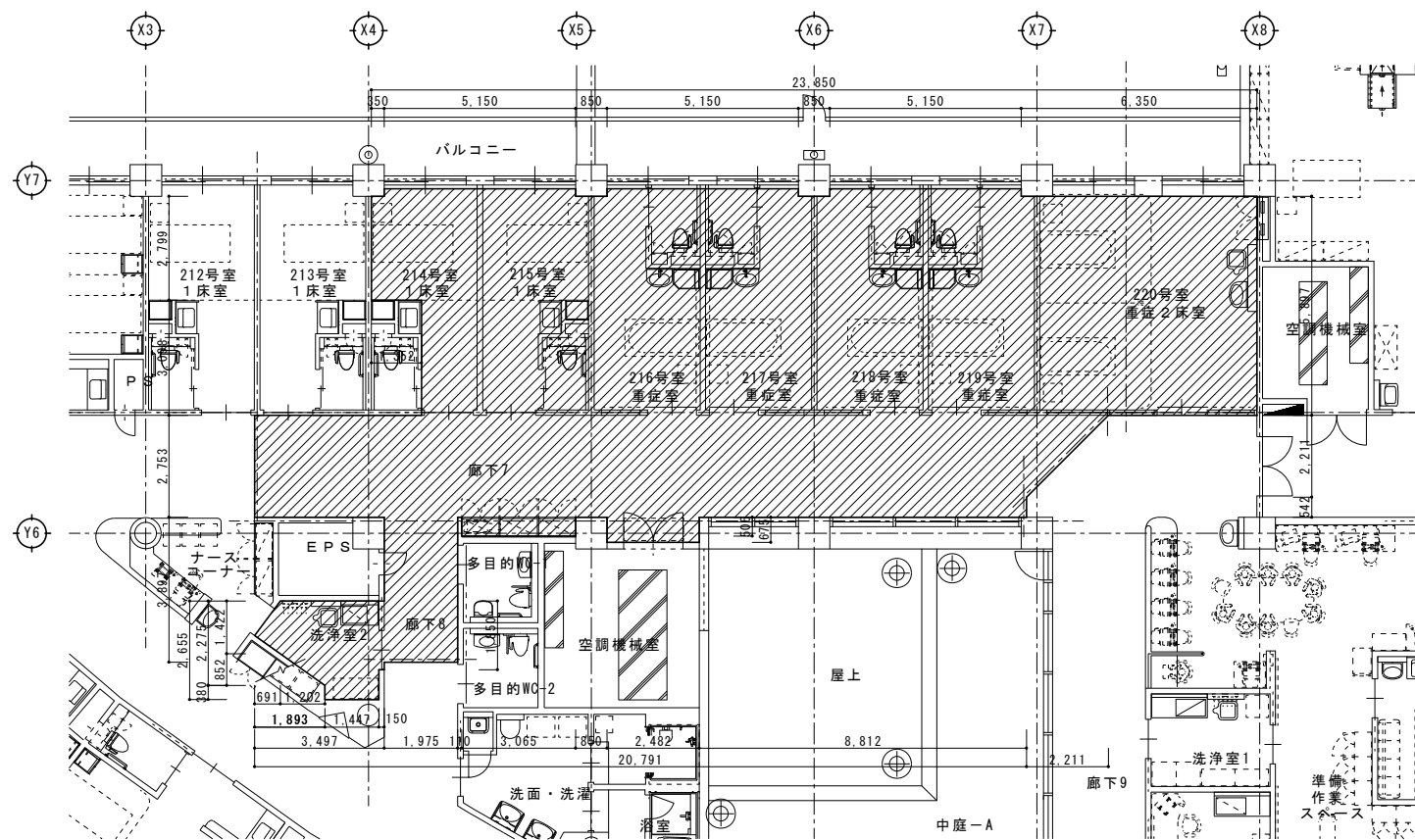
年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	改修 建具KEY・建具表	A1 S=1:100 A1 S=1:50	A-18
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修		A3 S=1:100	



建具KEY-PLAN S=1:100

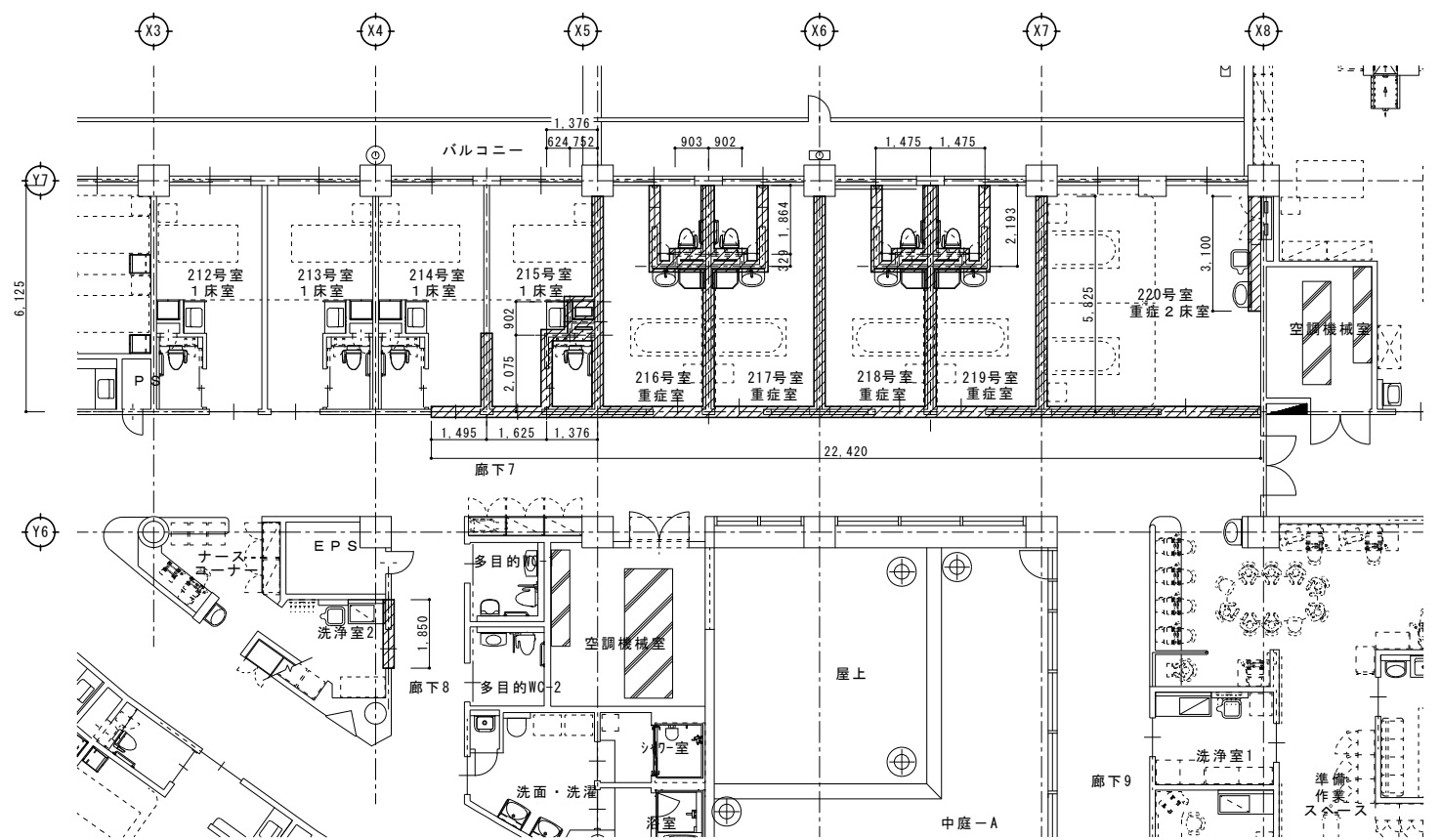
<p>符号・数</p> <p>形態等</p>	<p>① ナースSカウンター 1箇所</p>	<p>② 休憩室 流し台セット 1箇所</p>		
<p>符号・数</p> <p>形態等</p>	<p>③ 個室1 ライニング 1箇所</p>	<p>④ 洗浄室 ライニング 1箇所</p>	<p>⑤ 洗浄室 ライニング 1箇所</p>	<p>⑥ 多目的WC-2 ライニング 1箇所</p>

<p>年度</p>	<p>工事名称</p> <p>岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事</p>	<p>区分</p> <p>意匠</p> <p>工事種別</p> <p>改修</p>	<p>図面内容</p> <p>改修 家具KEY・家具表</p>	<p>縮尺</p> <p>A1 S=1:100</p> <p>A1 S=1:50</p> <p>A3 S=1:200</p> <p>A3 S=1:100</p>	<p>図面番号</p> <p>A-19</p>
-----------	---	---	---------------------------------	--	-------------------------



床仕上げ撤去範囲

床仕上げ撤去範囲図 S=1:100



間仕切り壁撤去範囲

間仕切り撤去範囲図 S=1:100

年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	既存撤去平面図	A1 S=1:100	A-20
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			

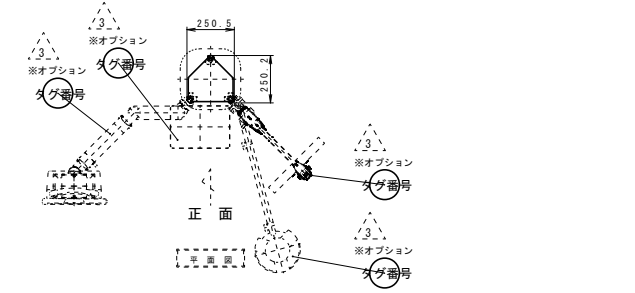


仕様及び工事区分表	
品名	工事区分
	医療機器 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 別途工事
コラムシステムフルゴ	(A)(F)(H)(B)(G)(D) (G) (E)(J) (I)
凡例	※品名は参考とする
(A)	本体製作及び取付工事
(B)	天井スラブ埋め込みアンカー打ち込み
(C)	天井内振れ止の金具、架台本体製作及び取付工事
(D)	機器用天井点検口
(E)	機器設置場所までの医療ガス配管工事 (バルブ止め)
(F)	機器設置場所医療ガスバルブ止以降の二次側医療ガス工事 (アウトレット共)
(G)	機器設置場所付近 (余長3m) までの一次側電気、アース配線工事
(H)	機器設置場所付近の二次配線の接続 (コンセント共)
(I)	LAM端子本体、ナースコール機本体及び取付、配線、システム構築工事

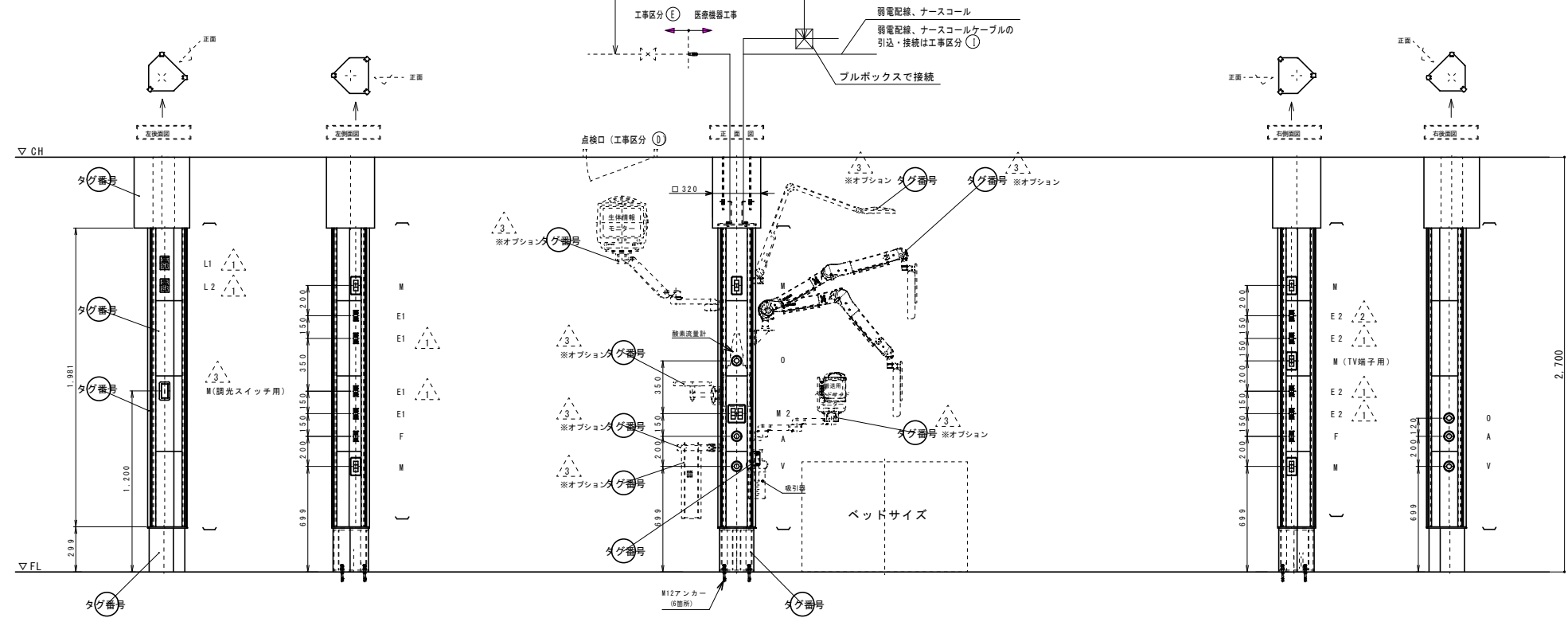
占有面積	
床から300mm超過の本体部	0.044m <sup>2</sup>
床から300mm以下の架台部	0.039m <sup>2</sup>

番号	名称	仕様	説明	数量/1基
①	天井カバー	スチール製 白色塗装仕上げ	天井開口部の目隠し	1
②	ブザーナルメディカルレール	アルミ製 アルマイト仕上げ	各コーナーに3箇所設置レールサイズ: 10x25	計3箇所
③	パネル	スチール・アルミ・SUS製 白色塗装仕上げ ※凡例参照		1式
④	床面カバー	スチール製 白色塗装仕上げ	床面アンカー部の目隠し	1
⑤	床面自立ベース	スチール製 白色塗装仕上げ		1式
⑥	ピポットテーブル(A4サイズ) ※オプション	スチール製 白色塗装仕上げシングルアーム	耐荷重5kg 各種医療機器を掲載する。	1
⑦	LED診療用照明灯 ※オプション	LED光 ダブルアームDerungsVISIAND20	調整可能な2色のイノベティブなLEDライト。	1
⑧	ピポットアーム ※オプション	スチール・ステンレス製	サクションチューブ用/バスケット等を引っ掛ける。	1
⑨	サクションチューブ用バスケット (115mmx45mmx45mm) ※オプション	ステンレス製 メッシュ構造	吸引カテテル等、長物を収納する。	1
⑩	吸引器フックベース	ステンレス製	吸引ボトルを引っ掛ける。	1
⑪	上下昇降2層モニターアーム ※オプション	CIM社製J3130GFIXINGS: 3	生体情報モニター取付用アーム。	1
⑫	水平2層モニターアーム ※オプション	CIM社製アーム長さ: 300x300FIXINGS: 3	生体情報モニター取付用アーム。	1
⑬	TVアーム ※オプション	TV用ロングアーム 13インチモニター	液晶テレビ取付用アーム。	1

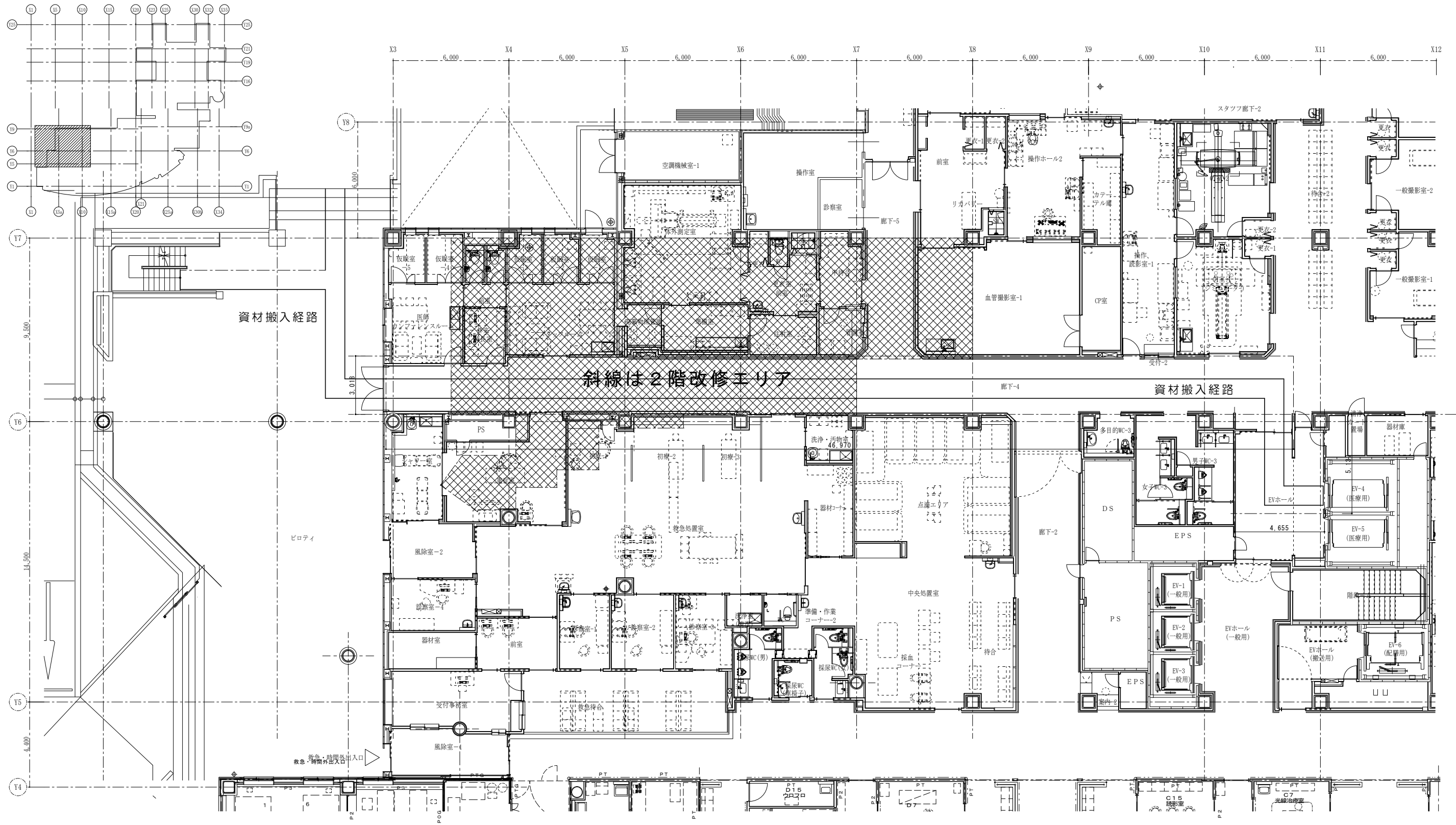
- 凡例
- 0 x 2 医療用ガスアウトレット (酸素)
  - A x 2 医療用ガスアウトレット (空気)
  - V x 2 医療用ガスアウトレット (吸引)
  - E1 x 4 医療用電源コンセント線 (UPS/ISO)
  - E2 x 4 医療用電源コンセント線 (UPS/ISO)
  - F x 2 医療用接地端子白 (医療用接地系統)
  - L1 x 1 過電流警報機 (E1系統)
  - L2 x 1 過電流警報機 (E2系統)
  - M x 6 情報端子等取付スペース (1連用ブラックプレート取付)
  - M 2x1: ナースコール取付スペース (2連用開口※機器は別途)



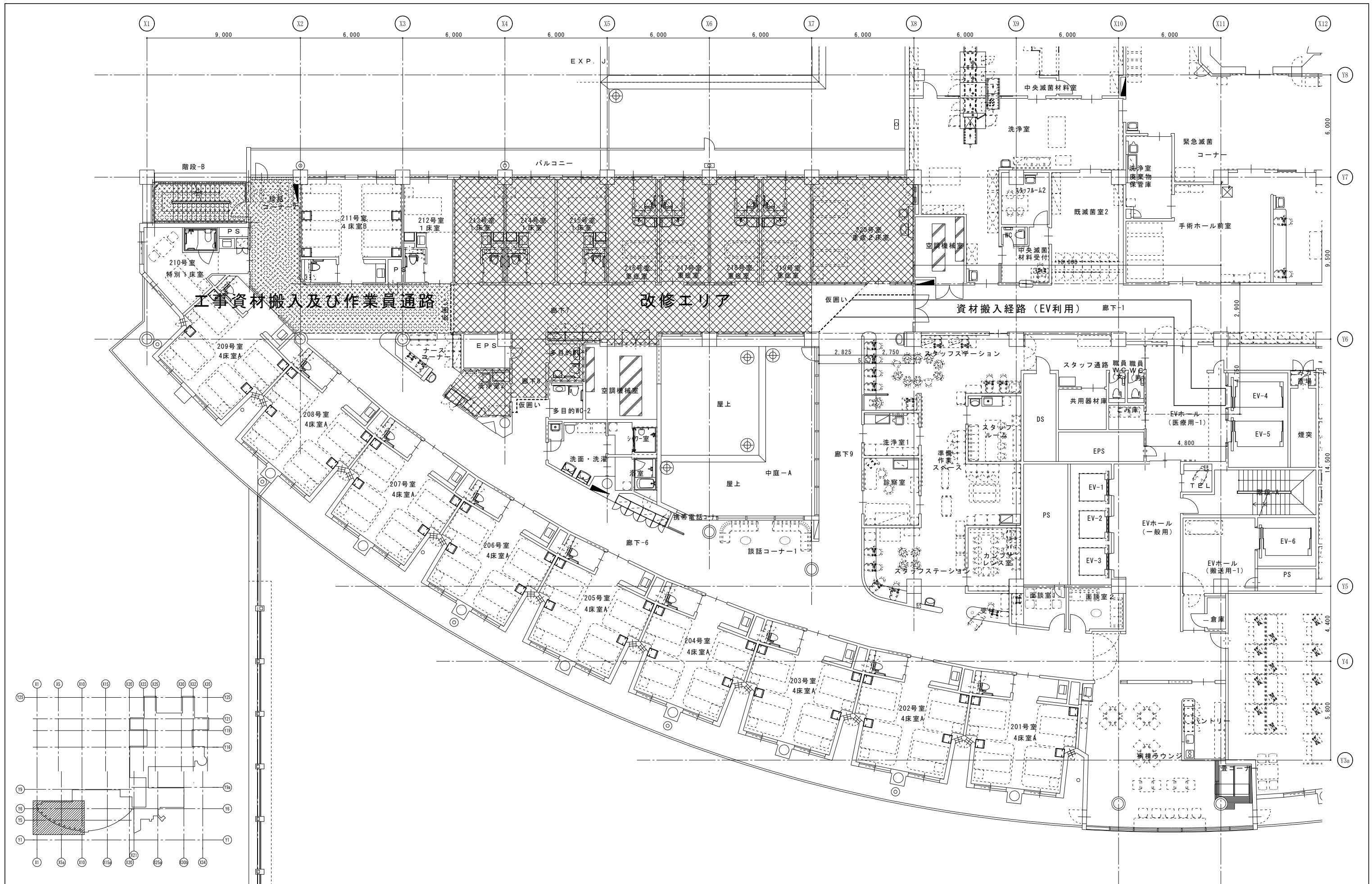
0 (酸素)	Cu-φ 10mm (バルブ・短管付)	医療用コンセント電源/1φ100V-20A(UPS/ISO) x 2系統
A (圧縮空気)	Cu-φ 10mm (バルブ・短管付)	医療用接地線/IV 5.5sq.(ミドリ) x 1回路
V (吸引)	Cu-φ 16mm (バルブ・短管付)	※ケーブル引込は別途工事とする。



年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	医ガスユニット参考図 2 (透折無)	A1 S=1:20	A-22
		工事種別		A3 S=1:40	
		改修			



年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	1階仮設計画参考図	A1 S=1:100	A-23
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			



年度	工事名称	区分	図面内容	縮尺	図面番号
	岩手県立磐井病院ハイケアユニット整備工事	意匠	2階仮設計画参考図	A1 S=1:100	A-24
		工事種別		A3 S=1:200	
		改修			